松山市埋蔵文化財調査年報　26

平成25年度

2014

松山市教育委員会
公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団
埋蔵文化財センター

松山市埋蔵文化財調査年報　26

平成 25 年度

2014

松 山 市 教 育 委 員 会
公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団
埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー

序　言

本書は、平成25年度に松山市教育委員会と公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財センターが、市内において実施した発掘調査等の概要並びに、松山市考古館が行った展示会・体験学習等の普及啓発事業の概要をまとめたものです。

主な発掘調査事業として、松山城三之丸跡16次調査（松山市堀之内）において、整然と並べられた三之丸御殿の石垣や東西・南北方向道路を確認したことが挙げられます。これは古絵図にある建物等の配置とほぼ合致しており、松山城跡の保存整備を進めるうえでの基礎資料となるものです。そのほかの発掘調査事業からも、地域の古代史を知る多くの資料を得ることができました。

普及啓発事業では、8月8日のまつやま子どもの日に、火おこし体験や石勾玉作りなどの体験イベント「古代体験まつり」を開催し、多くのご家族連れでにぎわいました。また特別展「出土文字から探る古代の松山」では県内外出土の出土品等をわかりやすく展示し、ご来場の皆様から好評をいただきました。そのほかにも体験教室や出前講座等を通して、古代人の苦労や知恵を身近に感じていただくことができました。

終わりになりますが、松山市教育委員会と埋蔵文化財センターによる埋蔵文化財の調査や保護、そして普及啓発活動に対し、皆様のご理解とご協力を賜りましたことを厚くお礼申し上げますとともに、本書が、埋蔵文化財の保護や調査研究等のための資料として、市民の皆様をはじめ、ひとりでも多くの方々にご活用いただければ幸いに存じます。

平成26年11月28日

松山市教育長
山本昭弘

例　　言

1. 本書は、松山市教育委員会と公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財センターが、平成25年4月1日から平成26年3月31日までに実施した発掘調査の概要と、松山市考古館が行った普及啓発事業の成果などをまとめた年次報告書である。
2. 確認調査については、第Ⅱ章の表にその概要をまとめた。
3. 各調査の報告は、発掘調査担当者が執筆し、編集は山之内志郎が行った。
4. 本書に掲載した写真の大半は、大西朋子が撮影した。
5. 位置図は、国土地理院発行の2万5千分の1図を使用した。
6. 遺構は、以下の略号で記した。

ＳＢ：竪穴式住居址（建物址）　掘立：掘立柱建物址　ＳＲ：自然流路　ＳＤ：溝　ＳＧ：池
ＳＥ：井戸　ＳＫ：土坑　ＳＡ：柵、柱列　ＳＰ：柱穴　ＳＸ：性格不明遺構　Ｔ：トレンチ

7. 刊行組織は、以下のとおりである。（平成26年4月1日現在）

松山市教育委員会	教育長	山本　昭弘
事務局	局長	桝田　二郎
	企画官	隅田　完二
	企画官	津田　慎吾
文化財課	課長	若江　俊二
	執行リーダー	楠　寛輝
公益財団法人 松山市文化・スポーツ振興財団	理事長	中山紘治郎
事務局	局長	中西　真也
事務局	次長兼総務部長	紺田　正彦
施設利用推進部	部長	玉井　弘幸
埋蔵文化財センター	所長兼考古館館長	田城　武志
	調査・研究担当リーダー	山之内志郎
	調査・研究担当リーダー	橋本　雄一
	普及・啓発担当リーダー	梅木　謙一

8. ご指導・ご協力を賜りました方々は、次のとおりである。（五十音順・敬称略）

赤松和佳（伊丹市教育委員会）・石岡ひとみ（愛媛県美術館）・今村賢司（愛媛県歴史文化博物館）・大北冬彦（松山市役所）・大橋康二（佐賀県立九州陶磁文化館）・奥村彪生（奥村彪生料理スタジオ）・岡田敏彦（公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター）・鐘江宏之（学習院大学）・亀井英希（愛媛県歴史文化博物館）・黒田恒平（愛媛県歴史文化博物館）・桑田訓也（奈良文化財研究所）・佐藤寛介（岡山県立博物館）・地主智彦（文化庁）・芝　康次郎（奈良文化財研究所）・下坂憲子（東温市立歴史民俗資料館）・下條信行（愛媛大学）・庄田慎矢（奈良文化財研究所）・杉山　洋（奈良文化財研究所）・田﨑博之（愛媛大学）・土岐幸司（新居浜市教育委員会）・冨田尚夫（愛媛県教育委員会）・中川あや（奈良文化財研究所）・中野雄二（波佐見町教育委員会）・中野良一（公益財団法人愛媛県埋

蔵文化財センター）・能田筆和（松山市役所）・樋口康裕（東温市立歴史民俗資料館）・兵頭　勲（愛媛県歴史文化博物館）・藤本史子（武庫川女子大学）・前園實知雄（奈良芸術短期大学）・前谷雅貴（正派邦楽会）・松井　寿（愛媛県歴史文化博物館）・松崎俊郎（向日市教育委員会）・松下孝幸（NPO法人 人類学研究機構）・宮代栄一（日本考古学協会員）・森崎一貴（奈良文化財研究所）・山本祥隆（奈良文化財研究所）・山本　崇（奈良文化財研究所）・吉田直人（東京文化財研究所）・吉見香奈子（松山市立雄郡小学校）・渡辺晃宏（奈良文化財研究所）・渡辺　博（向日市教育委員会）

9. ご指導・ご協力を賜りました機関は、次のとおりである。（五十音順・敬称略）
株式会社葵文化／伊予鉄道株式会社／愛媛県教育委員会／愛媛県歴史文化博物館／公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター／奥村彪生料理スタジオ／公益財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所／公益財団法人元興寺文化財研究所／株式会社古環境研究所／株式会社トリアド工房／公益財団法人向日市埋蔵文化財センター／独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所／独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所／株式会社文化財ユニオン／正派邦楽会／東温市立歴史民俗資料館／花菱会ジュニア／パリノ・サーヴェイ株式会社／株式会社パレオ・ラボ／富士シリシア化学株式会社／文化庁／向日市教育委員会

10. 本書の仕様は以下のとおりである。
製版　モノクロ写真・写真図版－175線
印刷　オフセット印刷
用紙　本文：三菱製紙ニューVマット
製本　無線綴じ

本　文　目　次

Ⅰ　平成 25 年度　松山市埋蔵文化財調査概要
平成 25 年度　松山市埋蔵文化財調査概要 …… 2
大峰ヶ台遺跡 13 次調査 …… 3
清水町遺跡 2 次調査 …… 4
松山城三之丸跡 16 次調査 …… 5
祝谷大地ヶ田遺跡 4 次調査 …… 6
文京遺跡 53 次調査 …… 7
文京遺跡 54 次調査 …… 8
東野森ノ木遺跡 5 次調査 …… 9
桑原遺跡 6 次調査 …… 10
西石井遺跡 6 次調査 …… 11
今在家遺跡 3 次調査 …… 12
久米窪田古屋敷遺跡 2 次調査 …… 13
白石ノ鼻確認調査Ⅱ …… 14

Ⅱ　平成 25 年度　松山市埋蔵文化財調査関係資料
平成 25 年度　松山市埋蔵文化財調査関係資料 …… 16

Ⅲ　平成 25 年度　出土物整理・保存処理事業
1. 出土物整理 …… 28
2. 保 存 処 理 …… 31
3. 久米窪田森元遺跡 4 次調査における樹種同定報告 …… 33

Ⅳ　平成 25 年度　普及啓発事業
1. 展示活動 …… 40
2. 教育普及活動 …… 41
3. 収集・保管・育成活動 …… 43
4. 出版活動 …… 43
5. 資料の貸出・調査 …… 43
6. 広報活動 …… 43
7. 考古館月別入館者数調 …… 43

Ⅴ　関係法規
1. 松山市立埋蔵文化財センター条例 …… 58
2. 松山市立埋蔵文化財センター条例施行規則 …… 60

挿図・写真目次

Ⅰ　平成 25 年度　松山市埋蔵文化財調査概要

大峰ヶ台遺跡 13 次調査 …… 3
図 1　調査地位置図（縮尺 1：25,000）　写真 1　遺構完掘状況（北西より）
写真 2　周溝完掘状況（東より）

清水町遺跡 2 次調査 …… 4
図 1　調査地位置図（縮尺 1：25,000）　写真 1　遺構配置状況（南より）

松山城三之丸跡 16 次調査 …… 5
図 1　調査地位置図（縮尺 1：25,000）　写真 1　3 区出土遺物（左：鉛玉、右：金銅製飾金具）
写真 2　3 区三之丸御殿西南角（南より）

祝谷大地ヶ田遺跡 4 次調査 …… 6
図 1　調査地位置図（縮尺 1：25,000）　写真 1　弥生土坑群調査状況（西より）
写真 2　7 号墳出土須恵器小像

文京遺跡 53 次調査 …… 7
図 1　調査地位置図（縮尺 1：25,000）　写真 1　調査地全景（西より）
写真 2　縄文土器出土状況（南より）

文京遺跡 54 次調査 …… 8
図 1　調査地位置図（縮尺 1：25,000）　写真 1　1 区 SD101 完掘状況（北より）
写真 2　4 区 SR402 完掘状況（東より）

東野森ノ木遺跡 5 次調査 …… 9
図 1　調査地位置図（縮尺 1：25,000）　写真 1　1 区遺構完掘状況（北より）
写真 2　SB1 完掘状況（東より）

桑原遺跡 6 次調査 …… 10
図 1　調査地位置図（縮尺 1：25,000）　写真 1　遺構完掘状況（東より）
写真 2　SB1 炉址完掘状況（南より）

西石井遺跡 6 次調査 …… 11
図 1　調査地位置図（縮尺 1：25,000）　写真 1　調査地全景（南より）
写真 2　SB5 遺物出土状況（南西より）

今在家遺跡 3 次調査 …… 12
図 1　調査地位置図（縮尺 1：25,000）　写真 1　調査地全景（西より）
写真 2　SX1 完掘状況（南西より）

久米窪田古屋敷遺跡 2 次調査 …… 13
図 1　調査地位置図（縮尺 1：25,000）　写真 1　遺構完掘状況（西より）
写真 2　SD201 完掘状況（北より）

白石ノ鼻確認調査Ⅱ …… 14
図１　調査地位置図（縮尺１：25,000）　写真１　現地風景（東より）
写真２　矢穴痕を残す石材（西より）

Ⅱ　平成 25 年度　松山市埋蔵文化財調査関係資料
図１　平成 25 年度　松山市埋蔵文化財本格調査位置図（縮尺１：80,000）…… 25

Ⅲ　平成 25 年度　出土物整理・保存処理事業
写真 1　久米窪田森元遺跡４次調査の木製品Ⅰ（木材組織顕微鏡写真）…… 36
写真 2　久米窪田森元遺跡４次調査の木製品Ⅱ（木材組織顕微鏡写真）…… 37
写真 3　久米窪田森元遺跡４次調査の木製品Ⅲ（木材組織顕微鏡写真）…… 38

Ⅳ　平成 25 年度　普及啓発事業
写真 1　「考古館・楽しかった 2012 展」…… 53
写真 2　巡回展「続・発掘へんろ」…… 53
写真 3　展示会「掘ったぞな松山 2013」…… 53
写真 4　展示会「いにしえのえひめ 2013」…… 53
写真 5　特別展「出土文字から探る古代の松山」…… 53
写真 6　地域展「味生の歴史」…… 53
写真 7　発掘情報展②「祝谷大地ヶ田遺跡４次調査」…… 53
写真 8　「松山市考古館写真展」（松山市役所１階ロビー）…… 53
写真 9　報告会「続・発掘へんろ」…… 54
写真 10　講演会「特別展」…… 54
写真 11　講演会「地域展」…… 54
写真 12　考古館ロビー　箏コンサート …… 54
写真 13　「わかりやすい考古学講座」（10 月）…… 54
写真 14　「わかりやすい考古学講座」（12 月）…… 54
写真 15　講演会「松山古代史セミナー」（1 月）…… 54
写真 16　講演会「松山古代史セミナー」（2 月）…… 54
写真 17　石勾玉を作ろう …… 55
写真 18　ガラス勾玉を作ろう …… 55
写真 19　銅銭作り …… 55
写真 20　銅鏡作り …… 55
写真 21　染物体験 …… 55
写真 22　古代体験まつり・ふんどう君ペンダント作り …… 55
写真 23　古代体験まつり・考古館で描こう …… 55
写真 24　古代体験まつり・火おこし体験 …… 55
写真 25　遺跡見学会「歴史バスツアー」…… 56

写真 26　団体来館・小学校の火おこし体験 …… 56
写真 27　現地説明会・祝谷大地ヶ田遺跡 4 次調査 …… 56
写真 28　出前考古学・石庖丁作り …… 56
写真 29　大連古代蓮 …… 56
写真 30　古代米 …… 56
写真 31　資料貸出しに伴う調査 …… 56
写真 32　広報活動・考古館キャラクター「ふんどう君」 …… 56

表　目　次

Ⅱ　平成 25 年度　松山市埋蔵文化財調査関係資料
表 1　平成 25 年度　松山市埋蔵文化財包蔵地変更一覧 …… 17
表 2　平成 25 年度　松山市埋蔵文化財確認調査一覧（1）～（7） …… 17 ～23
表 3　平成 25 年度　松山市埋蔵文化財本格調査一覧 …… 24

Ⅲ　平成 25 年度　出土物整理・保存処理事業
1. 出土物整理
表 1　遺物接合・復元作業一覧（1）（2） …… 28・29
表 2　遺物実測・整理・収蔵・図面整理作業一覧 …… 29
表 3　遺物写真・現像・整理作業一覧 …… 29
表 4　遺物再収納作業一覧 …… 30
2. 保存処理
表 1　木製品保存処理遺跡一覧 …… 31
表 2　植物遺存体保存処理遺跡一覧 …… 32
表 3　金属製品保存処理遺跡一覧 …… 32
3. 久米窪田森元遺跡 4 次調査における樹種同定報告
表 1　久米窪田森元遺跡 4 次調査における樹種同定結果 …… 33

Ⅳ　平成 25 年度　普及啓発事業
1. 展示活動
表 1　展示会一覧 …… 44
2. 教育普及活動
表 2　教育普及活動一覧（考古学講座・講演会等）（1）（2） …… 44・45
表 3　教育普及活動一覧（古代体験教室）（1）（2）（3） …… 45 ～47
表 4　教育普及活動一覧（遺跡見学会） …… 47
表 5　教育普及活動一覧（体験学習・団体来館）（1）（2） …… 47・48
表 6　教育普及活動一覧（現地説明会） …… 48

表 7　教育普及活動一覧（職場体験）…… 49
表 8　教育普及活動一覧（出前考古学教室）（1）（2）…… 49・50
表 9　教育普及活動一覧（職員研修・会議）…… 50
3. 出版活動
表 10　考古館印刷物一覧（ポスター・チラシ）…… 50
表 11　出版物一覧 …… 50
4. 資料の貸出・調査
表 12　資料の貸出一覧 …… 51
表 13　資料の調査一覧 …… 52
5. 広報活動
表 14　広報活動一覧 …… 52
6. 考古館月別入館者数調
表 15　平成 25 年度　考古館月別入館者数調（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）…… 52

Ⅰ　平成 25 年度
松山市埋蔵文化財調査概要

平成 25 年度　松山市埋蔵文化財調査概要

概　要　平成 25 年度の埋蔵文化財調査事業は、9 件の公共及び民間開発に伴う発掘調査事業と 3 件の国庫補助による発掘調査事業のほか、出土物の整理作業及び報告書刊行作業を実施した。

〔発掘調査〕 25 年度は、大規模開発に伴う発掘調査が相次いだ。主なものとして 24 年度に引き続き社会福祉施設建設に伴う祝谷地区での発掘調査（祝谷大地ヶ田遺跡 4 次調査）のほか、松山市立東雲小学校校舎や病院の改築に伴う発掘調査（文京遺跡 53・54 次調査）を行った。まず、祝谷大地ヶ田遺跡 4 次調査では、2 基の後期古墳（祝谷 7・8 号墳）を検出し、金銅装の馬具や装飾付須恵器などの注目すべき副葬品が出土した。24 年度に祝谷 6 号墳で出土した円頭大刀柄頭と併せ、同地区における地方豪族の存在を裏付ける古墳群として注目される。また文京遺跡 53・54 次調査は、愛媛大学城北キャンパス周辺に広がる弥生時代集落の範囲確認を主目的に発掘調査を実施し、黄色シルト層から縄文土器や石器が出土するなど、縄文時代集落の存在を裏付ける資料が得られた。また松山城三之丸跡における保存整備に伴う確認調査（松山城三之丸跡 16 次調査）を実施し、三之丸御殿の西南角石垣の確認と道路の確認を目的に約 5 ヶ月間屋外調査を実施した。その結果、古絵図に描かれた御殿の南や西に位置する東西道路や南北道路のほか、御殿西南角の石垣を確認した。

これらの遺跡の現地説明会は祝谷大地ヶ田遺跡や松山城三之丸跡等 6 遺跡において 5 回実施し、合計 528 名の参加があった。

〔試掘調査〕 国庫補助事業として、市内一円における試掘調査を日々実施し埋蔵文化財の有無を確認している。試掘件数は 25 年度 139 件で前年度に比べ 6 件減少した。また松山外環状線（空港線）の試掘調査を初めて実施し、余戸西二～四丁目・東垣生町・南吉田町における約 19,600㎡に及ぶ埋蔵文化財の有無を確認した。その結果、3 ヶ所において遺跡の存在を裏付ける遺構や遺物を確認した。

〔整理・報告書刊行作業〕 24 年度事業の概略をまとめた『年報 25』と 7 冊の発掘調査報告書を刊行した。報告書の内訳は、過去の公共・民間開発に伴う発掘調査事業が 3 冊（11 遺跡掲載）、国庫補助発掘調査事業が 3 冊（5 遺跡掲載）の報告書と松山市内遺跡詳細分布調査報告書 1 冊である。この市内遺跡詳細分布調査報告書は、18 ～ 22 年度に実施した市有公園における埋蔵文化財の確認調査と北条地区（善応寺）における試掘・踏査報告書である。

これらの報告書刊行後は、遺物・図面資料・写真資料を整理・分類した後、収蔵庫や写真整理室への収納作業を行った。その他、25 年度に実施した発掘調査事業に伴い出土した遺物の復元作業・保存処理作業ののち、実測やトレース作業を行い、図面や写真資料の台帳作成等を行った。

〔その他〕 東日本大震災の復旧等事業に伴う埋蔵文化財発掘調査のための職員派遣として 25 年 10 ～ 12 月に宮城県気仙沼市へ職員 1 名を出向させ、埋蔵文化財発掘調査の迅速化に協力した。（山之内）

大峰ヶ台遺跡13次調査

所在地　松山市南江戸五丁目1491番の一部
（包蔵地No.33）
期　間　平成25年6月10日～平成25年6月28日
面　積　約36㎡
原　因　緊急調査
担　当　水本完児

図１　調査地位置図

概　要　調査地は松山平野西部、大峰ヶ台丘陵（独立丘陵）の南東縁辺部、標高21.80～21.90ｍに位置する。大峰ヶ台丘陵上では大峰ヶ台遺跡として12度の調査が実施されている。とりわけ、大峰ヶ台丘陵山頂部にある大峰ヶ台遺跡４次調査からは、弥生時代中期の高地性集落が検出されている。

調査では、古墳時代の遺構と弥生時代から古墳時代の遺物を確認した。検出した遺構は、周溝１条、溝３条、土坑３基、柱穴３基であり、遺物は弥生土器、土師器、須恵器、埴輪、鉄製品、石器、骨が出土した。古墳時代では、周溝と土坑２基（SK2・3）を検出した。周溝は部分的な検出であり、規模は東西検出長3.9ｍ、幅1.1ｍ、深さは55㎝を測る。遺物は土師器（甕）、須恵器（坏身･坏蓋･高坏）、円筒埴輪、石器、骨が出土した。時期は古墳時代後期、６世紀前半である。SK2は円形土坑で、規模は東西長2.0ｍ、南北検出長0.7ｍ、深さ10㎝を測る。遺物は、須恵器（坏身）と弥生土器（壺形土器）が出土した。時期は古墳時代中期、５世紀後半～末である。SK3は円形土坑で、規模は東西検出長1.32ｍ、南北検出長0.9ｍ、深さ13㎝を測る。遺物は弥生土器（鉢形土器）と須恵器（坏蓋）が出土した。時期は古墳時代後期、６世紀中葉である。

まとめ　弥生時代の遺構は未検出であるが、弥生時代後期の遺物が出土した。これにより、調査地や周辺地域では当該期には継続的に集落が営まれていたことが推測される。古墳時代では、周溝と土坑２基を検出した。周溝の検出は、調査地や周辺地域では当該期には継続的に墓域や集落が営まれていたことが推測される。今後、大峰ヶ台地区における弥生時代～古墳時代の墓域と集落様相や変遷を解明するうえで、今回の調査成果は貴重な資料といえよう。

写真１　遺構完掘状況（北西より）

写真２　周溝完掘状況（東より）

清水町（しみずまち）遺跡２次調査

所在地　松山市清水町一丁目８番７の一部（包蔵地No.67）
期　間
（事業者負担分）平成25年10月10日～平成25年10月11日
（国庫補助分）平成25年10月15日～平成25年10月26日
面　積　約92.3㎡（事業者負担分17㎡、国庫補助分75.3㎡）
原　因　店舗兼個人住宅建築
担　当　山本健一

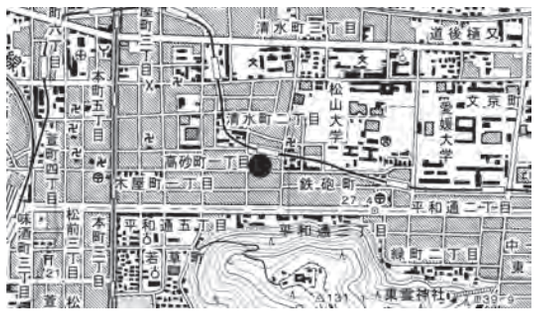


図１　調査地位置図

概　要　今回の調査地は、江戸期に作成された松山城下町嘉永図では年貢町家と示された範囲内にあたる。試掘調査の結果から、古墳時代以降から中世の集落の範囲や性格の確認を主目的として調査を行った。その結果、中近世の遺構を検出した。検出した遺構は、土坑14基（ゴミ穴８基）、溝１条、柱穴54基である。遺物はこれらの遺構内より、弥生土器、須恵器、土師器、陶磁器、土師質土器、瓦、金属製品、石製品が出土した。

調査では、中近世の遺構と弥生時代～近世の遺物を確認することができた。中世の土坑に関しては遺構の性格及び機能までは解明することはできなかったが土坑が確認されたこと、また建物址の復元にまでは至らなかったが柱穴が確認されたことから、本調査地は同時代の集落の一部分を担っていたものと考えられる。また、近世の溝、柱穴を確認したことで、近世にも建物が存在していたものと考えられ、特にゴミ穴から出土した遺物の中には、松山城三之丸内の武家屋敷地の調査で出土する陶磁器類と種類や質等が似ているものが含まれ、特に茶道具の出土がみられることから、やや上流階級の生活を窺うことができる。一般的に武家屋敷地の場合には敷地を囲む塀等の施設があり、間口部分には門が取り付くこと、町屋の場合には店となる主屋が道路に接する間口部分にあり、その背後には中庭となる空間地が広がり、敷地の奥には蔵が建ち、敷地の奥や中庭にはゴミ穴が繰り返し掘られることが知られている。今回の調査においても間口部分と敷地の奥側において多くの柱穴を確認した。また中央部にはゴミ穴が繰り返し掘られ、柱穴もほとんど見られない。これらより、今回の調査で確認した近世の遺構は、典型的な近世町屋の姿を示しているものと考えられる。

まとめ　今回の調査は、当初より中世集落の範囲や性格の確認を主目的として実施したものであったが、結果として、江戸時代の町屋を比較的に良好な状態で調査できた。近世町屋の調査及び確認は松山平野初となるものであり、松山城近隣における近世町屋の様相を確認できたことは大きな成果である。今後も松山城周辺における近世遺構の取り扱いには十分な注意が必要であると考えられる。

写真１　遺構配置状況（南より）

松山城三之丸跡16次調査

（まつやまじょうさんのまるあと）

所在地　松山市堀之内13－1の一部　外（史跡内）
（包蔵地No.74）

期　間　平成25年9月20日～平成26年2月10日

面　積　約187㎡

原　因　史跡整備に伴う確認調査

担　当　吉岡和哉

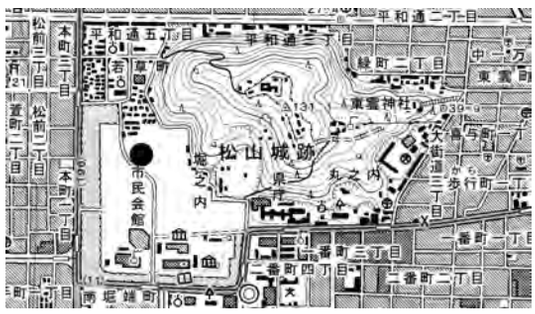


図1　調査地位置図

概　要　城山公園の第2期整備に伴う情報収集のために実施した。調査の主目的は、三之丸御殿の西南角石垣を確認し、加えて三之丸御殿の南に位置する東西方向道路及び、三之丸御殿の西に位置する南北方向道路を確認すること、さらに東西方向道路の南側に位置する会所と御勘定所の境界を確認することである。調査では、既往の確認調査成果と古絵図を参考に、三之丸御殿の南に位置する東西方向道路及び御殿の西に位置する南北方向道路の予想される地点にトレンチを設定した。調査区は合計4ヶ所設定し、三之丸御殿の南に位置する東西方向道路の東側より西側に向かって、1区、2区、3区、三之丸御殿西側の南北方向道路に沿って3区の北側を4区とした。1区は、後世にかなりの改変を受けており、東西方向道路南側側溝の南石列は全て抜き取られ、道路南側側溝の南面に想定していた「会所」と「御勘定所」の痕跡は全く確認できなかった。2区では、三之丸御殿の南に位置する東西方向道路、御殿南石垣及び道路南側側溝を良好な状態で確認した。北側側溝周辺において星梅鉢紋鬼瓦片が出土した。3区では、三之丸御殿西側石垣より御殿西南角を経て東側に続く御殿南側石垣を確認した。星梅鉢紋鬼瓦、金銅製飾金具（星梅鉢紋）、砥部系磁器輪花皿（底部露胎部に墨書「出納」他）、大筒のものと考えられる鉛玉等が出土した。4区では、三之丸御殿の西石垣を確認し、南北方向道路及び南北方向道路西側側溝を良好な状態で確認した。

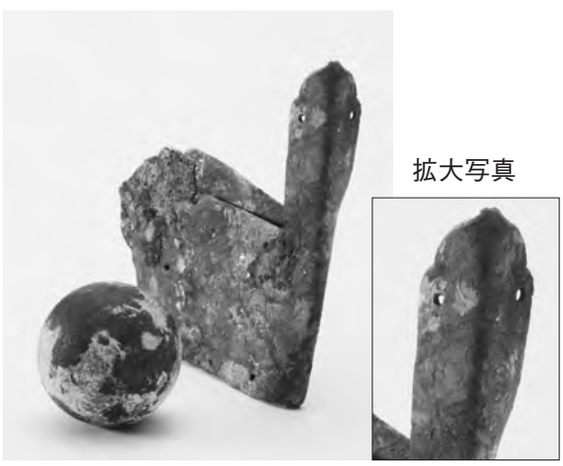


写真1　3区出土遺物（左:鉛玉、右:金銅製飾金具）

まとめ　1区では、会所と御勘定所の境界を確認することができなかったが、2区、3区、4区において三之丸御殿石垣を確認することができた。出土遺物では、三之丸御殿特有の遺物が多く出土しており、特に「出納」と墨書された砥部系の磁器皿は、明治元年に藩政改革を実施した際に設置した会計局の分課「出納司」を示すものであると考えられ、明治三年に三之丸御殿が焼失するまでの非常に限られた時期の資料である。

写真2　3区三之丸御殿西南角（南より）

祝谷大地ヶ田遺跡４次調査

（いわいだにおおちがた）

所在地　松山市祝谷四丁目990番1、六丁目1027番5・1034番の各一部、1027番6
（包蔵地No.55・56・57）

期　間　平成25年4月25日～平成25年7月12日

面　積　1,239㎡

原　因　緊急調査

担　当　吉岡和哉・宮内慎一・高尾和長・栗田茂敏

図１　調査地位置図

概　要　平成24年度に実施した隣接地（約1,106㎡）の祝谷大地ヶ田遺跡３次調査では、弥生時代中期中葉頃の貯蔵穴約40基が密集した状態で見つかり、また青銅鏡や銅釧、亀甲繋花弁文象嵌円頭大刀環頭など豪華な副葬品をもつ古墳（祝谷６号墳）の存在を確認した。今回は、残りの1,239㎡に対する発掘調査を実施し、弥生時代中期中葉を主体に中期初頭～中期後葉に属する複数の土坑を重複・密集した状態で確認した。弥生時代の土坑は82基確認しており、平面形態で分類すると円形29基、楕円形48基、方形４基、長方形１基である。断面形態や出土遺物等より、食料を保管するための貯蔵施設として機能していたものが、最終的にはゴミ捨て穴として再利用されたものと考えられる。調査ではまた、古墳時代後期の横穴式石室を２基確認しており、祝谷７号墳は玄室床面の玉石が約1.8×３ｍの範囲で遺存するのみであったが、ｆ字鏡板や革金具等、金銅製の馬具や、側面に象嵌の施された鍔、銀製の飾金具等が出土したほか、装飾付須恵器に飾り付けられていたと考えられる須恵器小像が散乱した状態で出土した。祝谷８号墳は、横穴式石室の玄室部分しか残存しない古墳であるが、耳環及び玉類の出土が目立ち、玉類は約250個、耳環は少なくとも三セットある。大刀の出土状況に特徴がみられ、石室奥側に立てかけた状態であったと考えられるものと、意図的に折り曲げた後に副葬されたと考えられるものがある。

まとめ　特に祝谷７号墳では、金銅装の馬具や、象嵌の施された鍔等が出土し、前回の調査（祝谷６号墳第２石室）で出土した亀甲繋花弁文象嵌円頭大刀環頭に引き続き、当地域を治めていた一族の解明につながる貴重な資料を得ることができた。また、装飾付須恵器に飾り付けられていたと考えられる須恵器小像には、装飾された馬にまたがる高貴な男性を表現したものや、琴をひく高貴な男性を表現したものなどがみられ、古墳時代の儀礼・伝承・葬送儀礼を復元するための貴重な資料が得られた。（吉岡）

写真１　弥生土坑群調査状況（西より）

写真２　７号墳出土須恵器小像

文京（ぶんきょう）遺跡53次調査

所在地　松山市文京町２番１の一部
（包蔵地 No.67）
期　間　平成25年７月８日～平成25年８月30日
面　積　819㎡
原　因　緊急調査
担　当　宮内慎一

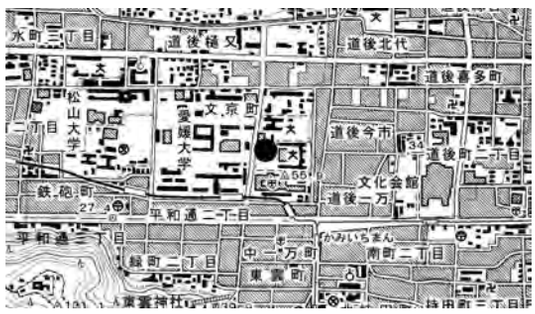


図１　調査地位置図

概　要　本調査は、松山市立東雲小学校校舎改築工事に伴い実施したもので、調査以前は運動場や砂場として利用されており、現況の標高は29ｍである。調査は３地区（１～３区）に分区して実施され、調査地北西部１区では中世の溝や鋤跡、調査地北東部２区では中世の柱穴、調査地南東部３区からは中世の流路や柱穴を検出した。このうち、１区で検出したSD1は検出幅2.5ｍ、深さ60㎝の南北方向に延びる溝で、溝内には砂や小礫が含まれており、激しい水流があったことが伺われる。溝からは、古墳時代から中世までの土師器片や陶磁器片のほか、牛の臼歯が出土した。また１区からは水田耕作に伴う鋤跡が検出されており、中世には１区や近隣地域が生産域として利用されたものと推測される。一方、２区や３区からは数多くの柱穴を検出した。柱穴内からは鎌倉時代や室町時代に時期比定される土師器や瓦器が出土したが、建物を構成するまでには至らなかった。このほか、遺構検出層である黄色シルト層からは、縄文時代後・晩期の土器片や石器のほか少量の炭化物や焼土を検出した。明確な遺構は検出されなかったが、調査地や近隣地域に、該期の集落が存在したことを示唆する貴重な成果といえる。

まとめ　今回の調査では、調査地における中世段階の集落様相や土地利用方法の一端を解明することができた。調査地のある文京地区では弥生時代や古墳時代の集落範囲や構造は明らかになりつつあるが、今回の調査により、当地や近隣地域は弥生時代から古代においては集落域でなかったこと、さらに中世では生産域であったことなどが明らかとなった。

写真１　調査地全景（西より）

写真２　縄文土器出土状況（南より）

文京（ぶんきょう）遺跡 54 次調査

所在地　松山市文京町２番１の一部
（包蔵地 No.67）
期　間　平成 25 年 10 月 1 日～平成 25 年 12 月 13 日
面　積　1,079㎡
原　因　緊急調査
担　当　河野史知

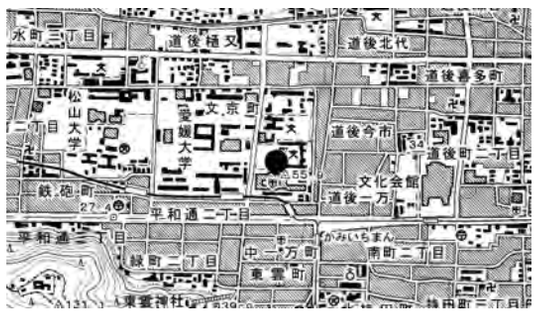


図１　調査地位置図

概　要　調査地は東雲小学校の運動場にあり、標高 29 ～ 30 ｍに位置する。調査地が所在する文京町は道後城北遺跡群内にあり、文京遺跡（愛媛大学構内）や松山大学構内遺跡をはじめ数多くの遺跡が発見されている。なかでも文京遺跡は 53 次にわたる調査が継続的に実施され、縄文時代から近世に及ぶ集落跡や生産跡が確認されている。

調査区は４地区（1 ～ 4 区）に分け実施した。検出遺構は、溝１条、土坑１基、柱穴 28 基、自然流路２条、遺物は縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、動物骨が出土した。縄文時代では、1 ～ 3 区の黄色シルト層中から小礫に混じり、縄文土器片が出土した。また、2 区で検出した焼土塊や炭化物から、火を使ったことが想定できる。縄文土器片の摩滅はあまり見られず、調査区周辺に縄文集落が展開していた可能性がある。弥生時代から古墳時代では、4 区 SR402 は既往の調査で想定された自然流路の南岸であることが確認できた。3 区 SK301 は検出層から弥生時代から古墳時代の土坑と考えるが、土坑内には焼土が密集し、基底面の長軸方向で検出した柱穴２基のうち１基の上には柱状の炭化材が残存しており、土坑内に柱が建った状態で焼けた可能性が高い。中世では、溝や柱穴、自然流路を検出した。1 区 SD101 は南北方向を直線的に掘られた溝で、北側は文京遺跡 53 次調査 SD1 につながるもので、両端の検出長は 55 ｍを測り、53 次調査の北側約 30m を西流する自然流路から取水した農耕に伴う水路施設と考える。柱穴は散在しており、調査区周辺には掘立柱建物の存在が想定される。4 区 SR401 は SR402 の南岸に沿っており、SR402 の埋没最終段階に機能していた流路であることが確認できた。

まとめ　今回の調査により、本調査地は黄色シルト層が形成する微高地の東先端部付近であることが確認できた。黄色シルト層を中心に縄文時代から中世までの成果が得られたことは、微高地上に展開する文京遺跡の集落の東端を考える上で貴重な資料となるものである。

写真１　1 区 SD101 完掘状況（北より）

写真２　4 区 SR402 完掘状況（東より）

東野森ノ木遺跡５次調査

（ひがしのもりのき）

所在地　松山市東野一丁目甲 56 番 5 の一部
（包蔵地 No.81）

期　間　平成 26 年 2 月 3 日～平成 26 年 3 月 28 日

面　積　約 332㎡

原　因　緊急調査

担　当　河野史知

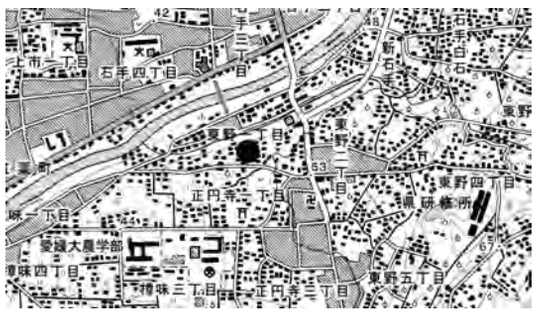


図１　調査地位置図

概　要　調査地は松山平野東部、石手川中流域左岸の微高地上の標高 48.2 mに立地する。周辺には東野森ノ木遺跡、樽味立添遺跡、樽味高木遺跡、樽味遺跡、樽味四反地遺跡など 5 遺跡 60 地点に及ぶ発掘調査が行われ、縄文時代から中世に至る遺構や遺物が多数確認されている重要な地域である。

検出遺構は、竪穴建物 2 棟、掘立柱建物 4 棟、溝 1 条、土坑 9 基、柱穴 216 基、倒木痕 3 基である。遺物は縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器、石器が出土した。縄文時代の SK3 は基底面直上での検出であったが、深鉢 1 個体分の土器片が出土しており、貯蔵施設と考える。弥生時代では、竪穴建物、掘立柱建物、土坑などを検出し、周辺の微高地上に展開する集落が当地にまで及ぶことが確認できた。SB2 は中期後葉頃の建物で 2 本柱で周壁溝を伴う構造である。SB1 は後期の中葉から後葉頃で、長方形状の平面形態に竪穴内部の周囲に貼り付けられた高床施設を伴う。この高床部は、南壁中央部付近がほかの 3 方の高床部に比べ低くなっており、建物出入り口の階段状施設の可能性をもつ。掘立 1 は南側の桁柱が重複しており、その痕跡より南から北方向に柱を約 30cm 移動しており、北側の桁柱の一部は東西方向に柱を移動していたことから、南西角の柱を軸として建物を北に振って建て替えたことがわかった。古代の掘立 3 は東西 2 間、南北 2 間以上の建物であり、柱の抜き取り後に土器を入れている柱穴などが検出され、建物の廃絶に伴い祭祀を行った可能性をもつ。中世では、掘立柱建物 2 棟や溝・土坑などを検出したが、同規模の柱穴が多く、調査区外に延びる掘立柱建物が存在することが窺える。

まとめ　今回の調査では、縄文時代から中世の集落跡を検出し、当時の集落構造を解明する資料が得られた。古墳時代の遺構は未検出であり周辺の調査成果と合わせて考察すると、その頃の集落は約 400m 西方から微高地先端部にかけて移動していたことが考えられる。本調査地では断続的に集落が営まれており、石手川中流域南岸の微高地上に展開する集落範囲を考える上で貴重な資料となるものである。

写真１　１区遺構完掘状況（北より）

写真２　SB1 完掘状況（東より）

桑原（くわばら）遺跡６次調査

所在地　松山市桑原一丁目796番1、813番の各一部（包蔵地No.82）

期　間　平成25年5月7日～平成25年6月7日

面　積　116.15㎡

原　因　緊急調査

担　当　水本完児

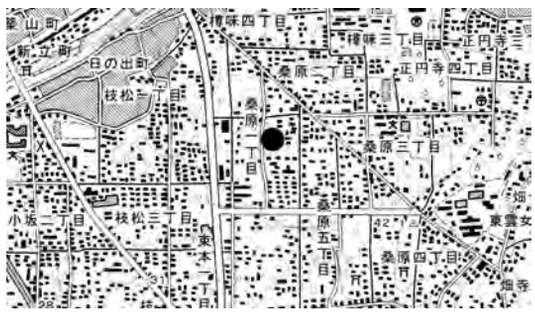


図１　調査地位置図

概　要　調査地は石手川中流域南岸の微高地上、標高39.0～39.6ｍに位置する。調査地周辺には、桑原遺跡３・４次調査、桑原高井遺跡１・３次調査、桑原西稲葉遺跡、東本遺跡６次調査など多くの発掘調査が実施されており、弥生時代から中世の集落跡が多数確認されている。調査では、弥生時代から中世までの遺構と遺物を確認した。検出した遺構は、竪穴建物１棟（弥生時代）、溝２条（古墳時代・中世）、柱穴12基である。遺物は弥生土器、土師器、須恵器、石器が出土した。基本層位は10層（Ⅰ～Ⅹ層）に分層され、Ⅲ層は中世、Ⅳ層は古墳時代までの堆積土であり、Ⅹ層はＡＴ火山灰である。

弥生時代では、後期後半に時期比定される竪穴建物の一部を検出した。SB1は炉址のほかに調査壁面の土層観察により周壁溝を観察したことから、竪穴建物と判断した。検出状況から推定径６ｍ以上の円形建物と考えられる。建物床面には貼床が施され、遺物は甕形土器（復元完形品）や壺形土器、鉢形土器の破片が出土した。このほか、２条の溝を検出した。SD1は、断面「Ｕ」字状を呈する深さ75㎝を測る溝である。溝内からは遺物の出土はないが、古墳時代の堆積層であるⅣ層が溝上面を覆うことから、古墳時代以前の溝と考えられる。またSD2は検出長1.22ｍ、深さ7㎝を測る溝で、SD1と同様、溝から遺物は出土していない。ただし、中世段階の堆積層であるⅢ層が覆うことから概ね中世以前の溝と考えられる。

まとめ　今回の調査では、弥生時代から中世の遺構を検出した。弥生時代後期後半に時期比定される竪穴建物の検出は、調査地や周辺地域には該期の集落が営まれていたことを示すものといえる。また、古墳時代から中世においては溝２条を検出した。これは、調査地や周辺地域に古墳時代から中世集落の存在を示唆する資料といえる。今後、桑原地区における弥生時代から中世の集落様相や変遷を解明するうえで、今回の調査成果は貴重な資料といえよう。

写真１　遺構完掘状況（東より）

写真２　SB1炉址完掘状況（南より）

西石井遺跡（にしいしい）6次調査

所在地　松山市西石井五丁目208番1の一部
（包蔵地No.119）
期　間　平成25年10月10日～平成25年11月16日
面　積　135.39㎡
原　因　緊急調査
担　当　相原浩二

図1　調査地位置図

概　要　調査地は、松山平野中央部の標高20.80ｍに位置する。周辺では西石井荒神堂遺跡、石井幼稚園遺跡、西石井遺跡の調査が実施され、弥生時代後期の竪穴建物、土坑墓、井戸跡、古墳時代後期の竪穴建物、古代～中世の溝、土坑、柱穴などが多数確認されている。

検出した遺構は竪穴建物（SB）5棟、掘立柱建物跡（掘立）2棟、井戸（SE）1基、土坑（SK）5基、溝（SD）2条、柱穴（SP）24基を検出した。遺物は弥生土器・土師器・須恵器などの土器類、石庖丁・石鏃・紡錘車などの石製品、鉄鏃などの鉄製品、管玉などの装飾品などが出土している。このほか、包含層中より分銅形土製品が出土している。検出した遺構の時期は出土遺物より弥生時代、古墳時代、中世である。

弥生時代の主な遺構は竪穴建物5棟、井戸1基がある。竪穴建物は、一部が調査区外となるなど全容が判るものはない。平面形は、検出状況よりすべて隅丸方形を呈するものと考えられる。時期は出土遺物より後期後半である。このうちSB5からは、廃棄された多量の土器や石包丁などが出土している。古墳時代では溝2条（SD1、2）がある。SD1からはほぼ完形の須恵器の甕が出土し、SD2からは滑石製の紡錘車が出土している。時期は、出土遺物より古墳時代後期である。中世では掘立柱建物跡、柱穴、土坑などを検出している。

まとめ　今回の調査では、弥生時代後期後半の竪穴建物や井戸跡、古墳時代後期の溝、中世の掘立柱建物跡など集落関連遺構を確認し同時代の集落の広がりを確認した。弥生時代では、竪穴建物の検出状況から調査地の北方向や東西方向に居住地が広がるものと想定される。

写真1　調査地全景（南より）

写真2　SB5遺物出土状況（南西より）

今在家（いまざいけ）遺跡３次調査

所在地　松山市今在家二丁目 291 番 1
（包蔵地 No.125）
期　間　平成 25 年 5 月 13 日～平成 25 年 5 月 22 日
面　積　約 36㎡
原　因　緊急調査
担　当　相原浩二

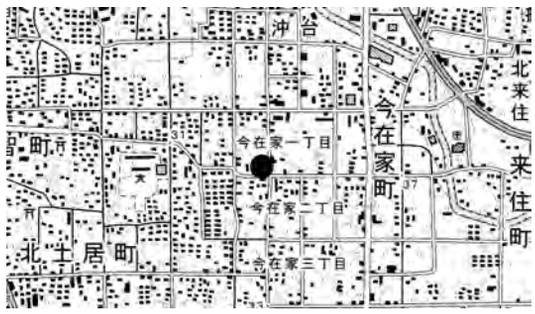


図１　調査地位置図

概　要　調査地は松山平野の中央部、小野川と内川に挟まれた氾濫原上の標高 31 mに立地する。今在家町内では平成元年に今在家繁成分遺跡、平成２年に今在家遺跡、平成 21 年には今在家遺跡２次調査が行われている。繁成分遺跡では、集積遺構を検出したほか弥生土器や石器などが出土している。今在家遺跡では、弥生時代後期の土坑から長頸壺や石庖丁などが出土している。このほか、調査地の西 300 mの石井東小学校遺跡では、弥生時代前期の土坑墓や古墳時代前期の竪穴建物、円墳の周溝、溝状遺構などを検出している。

今回の調査で検出した遺構は柱穴(SP)14 基、性格不明遺構(SX)1 基である。遺物は土師器・須恵器・轡が出土している。注目する遺構には、轡が出土した SX1 がある。SX1 は、北側と東側が調査区外となるため全容は不明である。検出規模は南北 3.50 m、東西 3.15 m、深さ 0.10 m～ 0.44 mを測る。北東方向に緩く傾斜し、段をもってさらに深くなる。轡は、SX1 内の南側の平坦面に銜を折りたたみ丁寧に置いたような状態で出土した。遺構の時期は、SX1 から出土した須恵器の形態より６世紀前半頃と考えられる。柱穴は、いずれも柱痕跡は検出していない。14 基のうち遺物が出土したのは３基（SP1、12、13）である。SP1、12 からは古墳時代後期の須恵器が出土し、SP13 からは 10 世紀代と考えられる土師器坏が出土している。

まとめ　今回の調査で注目する遺物として、SX1 から出土した轡がある。轡は銜、鏡板、引手で構成されるが出土したものには引手が無かった。松山平野では、集落遺跡からの出土は非常に稀である。今のところ知られているものは、久米高畑遺跡４次調査の溝から出土したのみであり、集落遺跡から出土したものとしては２例目となる。今後は SX1 の性格解明が課題である。

写真１　調査地全景（西より）

写真２　SX1 完掘状況（南西より）

久米窪田古屋敷遺跡２次調査

所在地　松山市久米窪田町 849 番１の一部
（包蔵地 No.129）
期　間　平成 25 年 11 月 25 日～平成 25 年 12 月 27 日
面　積　175.65㎡
原　因　緊急調査
担　当　水本完児

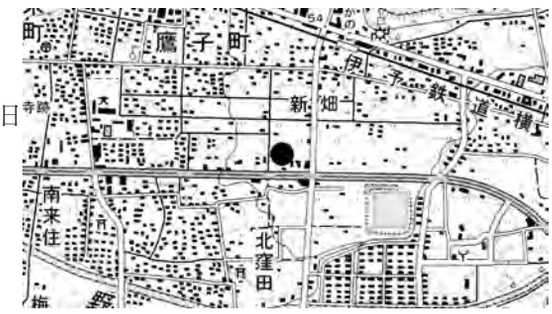


図１　調査地位置図

概　要　調査地は松山平野南東部、堀越川と小野川に挟まれた来住台地上の東部域、標高 47.5 ～ 47.9m に立地する。調査地周辺では、久米窪田古屋敷遺跡や久米窪田古屋敷Ｃ遺跡、久米窪田Ⅰ～Ⅳ遺跡、久米窪田森元遺跡（1 ～ 4 次調査）などが実施され、縄文時代から近世までの遺跡が多数確認されている。

調査で検出した遺構は溝３条、土坑３基、柱穴 15 基であり、遺物は縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、石器が出土した。

縄文時代では、後期後半の土器１点（深鉢の口縁部片）が出土した。周辺の調査では、久米窪田Ⅴ遺跡から縄文時代中期～晩期の土坑、久米窪田Ⅰ遺跡からは縄文時代後期の竪穴建物、久米窪田森元遺跡１次調査からは縄文時代後期の土坑を検出している。弥生時代では、柱穴内から弥生時代前期の甕形土器片が出土した。周辺では、久米窪田Ⅳ・Ⅴ遺跡から弥生時代前期の竪穴建物と土坑墓、久米窪田古屋敷遺跡１次調査からは同時期の溝と土坑を検出している。古墳時代では、6 世紀後半の溝２条（SD101・201）と土坑２基（SK101・201）を検出した。なお、その他の溝や土坑も 6 世紀代と考えられる遺構である。周辺では、久米窪田Ⅳ遺跡から同時期の竪穴建物と土坑、久米窪田森元遺跡３次調査からは溝を検出している。

まとめ　今回の調査では、弥生時代前期や古墳時代後期の遺構を検出し、縄文時代後期から古墳時代後期の遺物が出土した。久米窪田町一帯には、縄文時代から古墳時代に至る遺跡が広く展開しているものと考えられているが、とりわけ過去の調査により、今回の調査で検出した古墳時代後期の遺構は、当地一帯における古墳時代集落の構造を解明するうえで良好な資料といえる。

写真１　遺構完掘状況（西より）

写真２　SD201 完掘状況（北より）

白石ノ鼻（しらいしのはな）確認調査 Ⅱ

所在地　松山市勝岡町及び高浜町六丁目
（包蔵地外）
期　間　平成 26 年 1 月 6 日～平成 26 年 3 月 18 日
面　積　約 3,100㎡
原　因　重要遺跡確認調査
備　考　国庫補助事業
担　当　相原浩二・西村直人（文化財課）

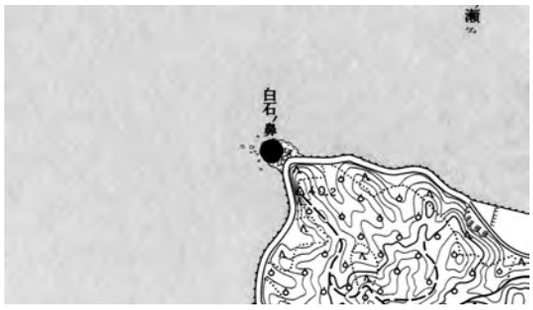


図 1　調査地位置図

概　要　平成 22 年度に白石ノ鼻で矢穴（石を切り出す際の道具の跡）が残る石が発見された。これを受けて松山市教育委員会は、白石ノ鼻が江戸時代の石切丁場であることを確認し、松山城の石垣の供給地である可能性を探るため調査を行なうこととした。平成 23 年度の調査では、白石ノ鼻に点在する岩石について矢穴や刻印の有無を確認し分布状況を把握するとともに、確認した矢穴の矢穴上端の計測を行うこととなった。その結果、矢穴痕を有する石を 55 石確認し、矢穴上端の計測値は約 3 ㎝～ 12㎝の範囲におさまることなどが判明した。

今年度の調査では、前回の分布調査の成果との比較研究のため、「松山城石垣に残る矢穴の計測」を実施する予定であった。しかしながら近年、一つの矢穴列における矢穴の個体差の抽出により、ここに技術の定型化・標準になるまでの課程を見出そうとする調査・研究が行われ、一定の成果を得られている。このことから、当初の予定を変更しこれらの調査・研究に沿って全ての矢穴を実測または計測を実施することとした。したがって今回の調査目的は、石割の技術及び規格性を見出すためのデーターを取得することである。調査の方法は、矢穴ごとにチョークラインによる平面写真や断面写真を撮り、真弧により矢穴の横断面と縦断面の実測を行い、「矢穴口の長さ」、「矢穴口の幅」、「矢穴の深さ」、「矢穴底の長さ」、「矢穴底の幅」、「矢穴間隔」の計測を行った。

まとめ　今回の調査では、5 石については潮位や波の影響で実測や計測ができなかったものの 50 石について詳細なデーターを取得することができた。今後は松山城の石垣に残る矢穴の計測によって白石ノ鼻に残る矢穴石との関連性が見出されることに期待したい。（相原）

写真 1　現地風景（東より）

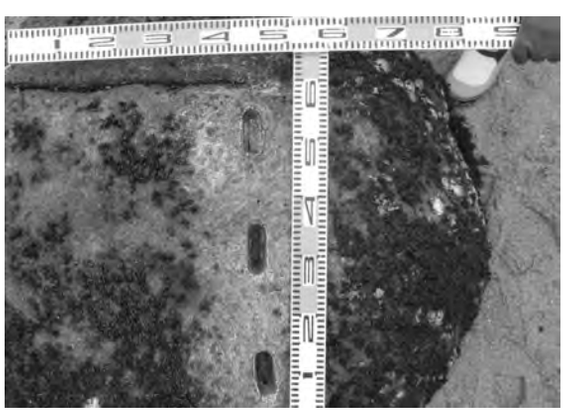


写真 2　矢穴痕を残す石材（西より）

Ⅱ　平成 25 年度
松山市埋蔵文化財調査関係資料

平成 25 年度　松山市埋蔵文化財調査関係資料

例　言

1. 本編は、松山市教育委員会事務局文化財課・（公財）松山市文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財センターが実施した埋蔵文化財確認調査及び本格調査資料である。
2. 埋蔵文化財確認調査は平成 25 年度（申請番号 1 ～ 250 号）、平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日受付迄の資料を取り扱う。なお、平成 25 年度以前の資料については、『松山市埋蔵文化財調査年報Ⅰ～Ⅹ（昭和 60 ～平成 9 年度）、同年報 11 ～ 25（平成 10 ～ 24 年度）』を参照されたい。
3. 資料作成（一覧表・付録図）は、髙尾和長が行った。
4. 表中の番号は、埋蔵文化財確認願の申請番号と同一のものである。また、本格調査については、平成 25 年度に行った調査を取り扱う。
5. 付録図は、国土地理院発行の 2 万 5 千分の 1 地形図（伊予北条・三津浜・松山北部・郡中・松山南部）を使用し、8 万分の 1 の縮尺で記載した。
6. 一覧の表記および略記について

　①標高：地表面での測定値。

　②調査目的：公＝施主公共団体、私＝施主一般、緊急＝記録保存を目的とした調査。

埋蔵文化財の保護について

文化財は、わが国の歴史・文化等を正しく理解するために欠くことのできないものであり、かつ将来の文化の向上、発展の基礎をなすものです。それら文化財の保存・活用による国民の文化的向上を目的として昭和 25 年に制定された文化財保護法には、国民の心構えとして、「政府及び地方公共団体がこの目的を達成するために行う措置に誠実に協力しなければならない」こと、「文化財が貴重な国民的財産であることを自覚し、これを公共のために大切に保存するとともに、その文化的活用に努めなければならない」ことが記されています。また同時に政府及び地方公共団体は、関係者の所有権その他の財産権を尊重しなければならないこととなっています。

●周知の埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等届出および確認調査について

埋蔵文化財包蔵地とは、貝塚、古墳、城跡等はもとより、土器片等の地表面での散布が認められる場所（散布地）、並びに土中での包含が認められる場所（包含地）をいいます。

埋蔵文化財は、建造物等の他の文化財と違って主に地下に存在するため、土木工事等による破壊を免れない場合があります。そのため、地図（註 1）に示された「周知の埋蔵文化財包蔵地」内で土木工事等を行なう場合は、60 日前までに愛媛県教育委員会への届出が義務付けられています。また、その届出に伴い埋蔵文化財の有無を確認するための調査（踏査、試掘等）を行いますので、土木工事等の計画がある場合は事前に松山市教育委員会文化財課へご相談ください。

註 1.　地図（松山市埋蔵文化財包蔵地図）は、市教委文化財課にて配布しているほか、市教委文化財課ホームページでも閲覧が可能となっております。

●周知の埋蔵文化財包蔵地の変更について

平成 25 年度は以下の 24 件の埋蔵文化財包蔵地に関する見直しが報告されました。

表１　平成 25 年度　松山市埋蔵文化財包蔵地変更一覧

包蔵地番号	包蔵地名称	種　類	時　代	見直し結果
30	御産所古墳群	散布地・古墳	縄文・弥生・古墳・古代	H26.3 変更
32	客谷・大池東古墳群	古墳・経塚	古墳・古代・近世	H26.3 変更
33	大峰ヶ台遺跡	集落跡・古墳・墳墓	弥生・古墳・古代・中世・近世	H26.3 変更
34	朝美遺跡	集落跡・社寺跡・墳墓・その他	弥生・古墳・古代・中世・近世	H26.3 変更
43（欠番９）	池ノ谷古墳	古墳	古墳	H26.3 廃止
49	祝谷アイリ遺跡	散布地・集落	弥生・古墳	H26.3 変更
51	祝谷六丁場遺跡	集落跡・古墳	弥生・古墳	H26.3 変更
54	常信寺山古墳群	散布地・古墳	古墳	H26.3 変更
55	祝谷大地ヶ田遺跡	集落跡・古墳・散布地	旧石器・弥生・古墳・中世	H26.3 変更
56	祝谷畑中遺跡	集落跡	弥生・古代・中世	H26.3 変更
57	土居窪遺跡	散布地	弥生・古代・中世	H26.3 変更
67	文京遺跡	集落跡・墳墓・生産遺跡	縄文・弥生・古墳・古代・中世	H26.3 変更
68	道後今市遺跡	集落跡・墳墓	弥生・古墳・中世	H26.3 変更
84	経石山古墳	古墳	古墳	H26.3 変更
90	苅屋遺跡群	集落跡	旧石器・縄文・弥生・古墳 古代・中世・近世	H26.3 変更
125	今在家遺跡	集落跡	弥生・古墳・古代	H26.3 変更
152	平井遺跡	集落跡	弥生・古墳・古代・中世・近世	H26.3 変更
214	道後町遺跡	集落跡・城館跡	弥生・古墳・中世	H26.3 変更
217	越智一丁目遺跡	集落跡	弥生・古墳・古代・中世・近世	H26.3 新設
218	白山神社古墳	古墳	古墳	H26.3 新設
219	道後北代遺跡	集落跡・生産遺跡	縄文・弥生・古墳・中世	H26.3 新設
220	清水町遺跡	集落跡	縄文・弥生・古墳・中世	H26.3 新設
221	辻町遺跡	集落跡・生産遺跡	古墳・中世	H26.3 新設
222	北井門遺跡	集落跡	縄文・弥生・古墳・古代・中世・近世	H26.3 新設

表２　平成 25 年度　松山市埋蔵文化財確認調査一覧　（1）

No.	所　在　地	面積（㎡）	標高（m）	包蔵地番号	調査目的	調査方法	遺　跡 有・無	包含層 遺　構	遺　物	備　考
1	桑原一丁目	1,624.92	37.00	№82	私	意見書	-			H24-82 試掘調査済 （有）意見書対応
2	此花町	1,615.87	33.20	包蔵地外	公	試掘	無			
3	小坂五丁目	148.12	23.80	№112	私	試掘	無			
4	姫原一丁目	115.73	25.70	№168	私	意見書	-			H24-129 試掘調査済 （有）意見書対応
5	道後樋又	423.06	30.00	№67	私	試掘	無			
6	姫原二丁目	125.92	18.10	№168	私	意見書	-			H24-4 試掘調査済 （有）意見書対応
7	太山寺町	1,367.17	9.80	№10	私	試掘	無			
8	南久米町	652.52	37.70	№126-1	私	試掘	無			
9	南町一丁目	5,312.73	36.20	包蔵地外	公	試掘	有	溝	縄文土器 須恵器	松山東署
10	今在家二丁目	126.24	31.10	№125	私	試掘	無			
11	吉藤四丁目	132.25	17.00	№41	私	意見書	-			H24-54 試掘調査済 （有）意見書対応
12	南江戸五丁目	152.06	20.80	№33	私	意見書	-			H24-173 試掘調査済 （有）意見書対応
13	姫原一丁目	144.89	25.70	№168	私	意見書	-			H24-129 試掘調査済 （有）意見書対応
14	衣山二丁目	168.89	24.10	№20	私	意見書	-			H15-49 試掘調査済 （有）意見書対応
15	清水町二丁目	166.61	23.30	№67	私	試掘	有	柱穴	土師器	松山東署
16	八反地	195.72	9.40	包蔵地外	公	試掘	無			

平成 25 年度　松山市埋蔵文化財確認調査一覧　(2)

No.	所　在　地	面積（㎡）	標高（m）	包蔵地番号	調査目的	調査方法	遺　跡 有・無	包含層 遺　構	遺　　物	備　　考
17	八反地	107.80	16.00	包蔵地外	公	試掘	無			
18	苞木	144.77	8.60	包蔵地外	公	試掘	無			
19	桑原一丁目	662.89	36.20	№82	私	意見書	-			H24-278 試掘調査済（有）意見書対応
20	谷町	306.90	24.40	№41	公	踏査	無			
21	平井町	214.00	81.20	№90	私	試掘	無			
22	船ヶ谷町	527.77	11.00	№17	私	試掘	有	溝 竪穴住居	鉄鎌・弥生土器 土師器・須恵器	松山西署
23	和田	193.66	11.60	№83 (旧北条)	私	意見書	-			H24-293 試掘調査済（無）意見書対応
24	姫原一丁目	120.09	25.70	№168	私	意見書	-			H24-129 試掘調査済（有）意見書対応
25	道後緑台	125.04	35.10	№55・ 56・57	私	試掘	無			
26	道後北代	313.26	31.90	№55・ 56・57	私	試掘	有	柱穴	土師器 須恵器	松山東署
27	東方町	2.25	112.10	№165	私	意見書	-			意見書対応
28	道後樋又	167.43	27.60	№67	私	試掘	無			
29	北久米町	138.44	33.70	№124	私	意見書	-			H24-7 試掘調査済（無）意見書対応
30										申請取り下げ
31	平井町	99.09	71.40	№90	私	試掘	無			
32	小坂四丁目	1170.00	24.40	№110	私	試掘	無			
33	森松町	2,272.88	35.10	№134	私	試掘	無			
34	南江戸四丁目	123.62	13.40	№35	私	意見書	-			H3-38 試掘調査済（有）意見書対応
35	樽味三丁目	366.45	40.40	№81	私	意見書	-			意見書対応
36	清水町一丁目	131.59	24.30	№67	私	試掘	有	柱穴・土坑	弥生土器 須恵器・土師器	松山東署
37	南久米町	132.43	36.70	№126-1	私	意見書	-			H24-163 試掘調査済（無）意見書対応
38	来住町	313.87	39.00	№127	私	意見書	-			H24-237 試掘調査済（有）意見書対応
39	愛光町	700.48	15.10	№34	私	試掘	無			
40	道後樋又	694.61	28.10	№67	私	意見書	-			H24-39 試掘調査済（無）意見書対応
41	西石井五丁目	663.00	20.00	№119	私	試掘	有	溝	土師器	松山南署
42	南梅本町	231.46	95.70	№107	私	試掘	無			
43	清水町一丁目	362.84	23.00	№67	公	試掘	有	柱穴 竪穴住居	縄文土器	松山東署
44	枝松六丁目	241.77	28.00	№113	私	試掘	無			
45	清水町二丁目	99.18	23.20	№67	私	試掘	無			
46	鷹子町	14.46	41.50	№128	公	意見書	-			意見書対応
47	道後樋又	3.90	27.40	№67	公	意見書	-			H24-262 試掘調査済（有）意見書対応
48	南江戸四丁目	1,096.00	12.20	№35	私	試掘	無			
49	文京町	25,901.24	30.40	№67	私	意見書	-			H24-218 試掘調査済(無) H24-70 試掘調査済（有）意見書対応
50	桑原四丁目	315.00	40.30	№85	私	試掘	無			
51	平井町	246.10	69.00	№90	公	意見書	-			意見書対応
52	文京町	10,800.00	30.40	№67	公	意見書	-			H24-70 試掘調査済（有）意見書対応
53	文京町	0.303	25.60	№67	私	意見書	-			意見書対応
54	衣山四丁目	899.43	17.80	№20	私	試掘	無			
55	西石井六丁目	1.52	21.70	№119	公	意見書	-			意見書対応

平成 25 年度　松山市埋蔵文化財確認調査一覧　(3)

No.	所　在　地	面積（㎡）	標高（m）	包蔵地番号	調査目的	調査方法	遺　跡 有・無	包含層 遺　構	遺　　物	備　　考
56	今在家三丁目	292.30	31.10	№125	私	試掘	無			
57	中通	2,225.76	50.00	№40 (旧北条)	公	踏査	無			
58	桑原四丁目	175.92	39.30	№85	私	試掘	無			
59	鷹子町	534.98	45.00	№91	私	試掘	無			
60	清水町二丁目	168.69	24.80	№67	私	試掘	有	溝・土坑	土師器 須恵器	松山東署
61	南斎院町	633.88	28.60	№31	私	試掘	無			
62	桑原一丁目	5.98	36.20	№82	公	意見書	-			意見書対応
63	東方町	350.00	57.30	№143	公	意見書	-			意見書対応
64	東方町	415.10	57.30	№143	公	意見書	-			意見書対応
65	小坂三丁目	1,069.01	28.60	№110	私	試掘	有			
66	小坂三丁目	1,163.00	27.40	№110	私	試掘	有	柱穴・溝	弥生土器	松山東署
67	若草町	92.06	21.20	№74	私	試掘	無			
68	清水町二丁目	49.49	24.90	№67	私	試掘	無			
69	恵原町	55.80	57.10	№138	公	意見書	-			意見書対応
70	文京町	789.70	25.60	№67	私	意見書	-			意見書対応
71	道後北代	313.26	31.90	№55・ 56・57	私	意見書	-			H25-26 試掘調査済 （有）意見書対応
72	福音寺町	368.26	23.40	№116	私	試掘	有	溝	弥生土器 須恵器	松山南署
73	鷹子町	212.90	56.90	№152	私	意見書	-			意見書対応
74	山越三丁目	206.61	20.00	№168	私	試掘	有	溝	弥生土器 須恵器	松山東署
75	谷町	1,060.31	14.90	№41	私	試掘	無			
76	北久米町	4.20	31.30	№126-1	公	意見書	-			意見書対応
77	北梅本町	330.54	120.00	№166	私	試掘	無			
78	天山二丁目	483.59	22.40	№117	私	試掘	無			
79	文京町	153.88	25.60	№67	私	意見書	-			意見書対応
80	西石井五丁目	90.00	20.00	№119	公	意見書	-			H22- 公 13 試掘調査 済（無）意見書対応
81	南江戸二丁目	551.70	13.50	№37	私	意見書	-			H24-261 試掘調査済 （無）意見書対応
82	祝谷五丁目	175.14	42.00	№55・ 56・57	私	意見書	-			H22-172 試掘調査済 （有）意見書対応
83	西野町	28.60	59.90	№138	公	意見書	-			H7-45 試掘調査済 （無）意見書対応
84	平井町	100.02	71.30	№90	私	試掘	無			
85	南久米町	2,780.04	32.50	№127	私	試掘	無			
86	中村二丁目	196.92	26.30	№161	私	意見書	-			H20-141 試掘調査済 （無）意見書対応
87	北斎院町	73.10	23.10	№29	公	意見書	-			意見書対応
88	久米窪田町	1,121.00	47.30	№129	私	試掘	有	柱穴・溝	弥生土器 須恵器	松山南署
89	北久米町	203.72	32.80	№124	私	試掘	無			
90	久万ノ台	333.59	16.70	№167	私	試掘	有	柱穴		
91	姫原一丁目	954.00	23.50	№168	私	試掘	有	柱穴	弥生土器 須恵器・石器	松山東署
92	南斎院町	1,448.93	7.90	№27	私	試掘	無			
93	北斎院町	197.59	7.70	№27	私	試掘	無			
94	内宮町	20.52	45.00	№40	私	踏査	無			
95	北梅本町	166.82	110.40	№166	私	試掘	無			

平成 25 年度　松山市埋蔵文化財確認調査一覧　(4)

No.	所　在　地	面積（㎡）	標高（m）	包蔵地番号	調査目的	調査方法	遺　跡 有・無	包含層 遺　構	遺　　物	備　　考
96	桑原六丁目	717.00	32.60	№82	私	試掘	無			
97	樽味三丁目	15.28	42.10	№81	私	意見書	-			意見書対応
98	西石井五丁目	1,188.01	20.50	№119	私	意見書	-			H23-75 試掘調査済（有）意見書対応
99	北井門四丁目	1,095.49	22.50	№121	私	試掘	有	柱穴 竪穴住居	弥生土器	松山南署
100	西野町	65.50	61.90	№140	公	意見書	-			意見書対応
101	道後一万	241.78	32.20	№68	私	意見書	-			H24-290 試掘調査済（有）意見書対応
102	北久米町	1,185.55	31.20	№126-1	私	試掘	有	柱穴・土坑 竪穴住居・溝	弥生土器	松山南署
103	南江戸三丁目	151.23	13.40	№35	私	試掘	無			
104	文京町	17.26	25.60	№67	私	意見書	-			意見書対応
105	三町一丁目	124.10	32.10	№85	私	意見書	-			H20-93 試掘調査済（有）意見書対応
106	道後北代	473.05	31.60	№55・ 56・57	私	試掘	無			
107	桑原一丁目	160.42	36.20	№82	私	意見書	-			H24-278 試掘調査済（有）意見書対応
108	松末二丁目	182.00	25.70	№114	公	意見書	-			H24-143 試掘調査済（無）意見書対応
109	持田町一丁目	238.74	35.60	№209	私	意見書	-			意見書対応
110	来住町	132.24	40.30	№127	私	意見書	-			H19-89 試掘調査済（有）意見書対応
111	今在家二丁目	1,190.30	31.00	№125	私	試掘	有	柱穴・土坑	土師器･須恵器 石製品	松山南署
112	衣山五丁目	264.45	44.20	№33	私	試掘	無			
113	平井町	220.14	63.50	№152	私	試掘	無			
114	谷町	832.87	16.20	№41	私	試掘	無			
115	道後緑台	423.04	35.40	№55・ 56・57	私	試掘	有	土坑	弥生土器	松山東署
116	南江戸四丁目	145.82	12.40	№35	私	試掘	無			
117	小坂四丁目	225.34	28.30	№110	私	試掘	無			
118	中村一丁目	139.03	29.40	№108	私	意見書	-			H20-181 試掘調査済（有）意見書対応
119	来住町	195.31	40.30	№127	私	意見書	-			H19-89 試掘調査済（有）意見書対応
120	樽味三丁目	1,897.24	42.10	№81	私	意見書	-			意見書対応
121	衣山三丁目	101.85	29.00	№20	私	試掘	無			
122	北斎院町	178.00	7.70	№27	私	試掘	無			
123	南久米町	45.00	34.90	№126-1	公	意見書	-			意見書対応
124	平和通五丁目	172.73	23.50	№212	私	試掘	有	溝 竪穴住居	弥生土器	松山東署
125	今在家三丁目	0.84	31.10	№125	公	意見書	-			意見書対応
126	北土居五丁目	328.12	23.50	№120	私	試掘	無			
127	樽味三丁目	176.43	42.10	№81	私	意見書	-			意見書対応
128	安城寺町	8.64	3.10	№12	公	意見書	-			意見書対応
129	桑原一丁目	125.64	37.20	№82	私	意見書	-			H24-82 試掘調査済（有）意見書対応
130	別府町	328.66	5.20	№30	私	意見書	-			H24-284 試掘調査済（無）意見書対応
131	南久米町	383.25	37.40	№127	私	試掘	有	柱穴・土坑	弥生土器 須恵器	松山南署
132	南江戸五丁目	438.00	28.00	№33	私	試掘	有	柱穴		
133	桑原一丁目	159.00	37.20	№82	私	意見書	-			H24-82 試掘調査済（有）意見書対応
134	平井町	130.72	71.40	№90	私	試掘	無			
135	来住町	170.86	40.40	№127	私	試掘	無			

平成 25 年度　松山市埋蔵文化財確認調査一覧　(5)

No.	所　在　地	面積（㎡）	標高（m）	包蔵地番号	調査目的	調査方法	遺　跡 有・無	包含層 遺　構	遺　　物	備　　考
136	道後今市	920.99	31.10	№67	私	試掘	無			
137	来住町	2,480.95	36.50	№127	私	試掘	有	柱穴	土師器 須恵器・瓦	松山南署
138	北久米町	782.53	31.40	№126-1	私	試掘	有	柱穴 竪穴住居	弥生土器	松山南署
139	山越三丁目	349.35	38.70	№46	私	試掘	有	柱穴	須恵器	松山東署
140	今在家二丁目	1,190.30	31.00	№125	私	意見書	-			H25-111 試掘調査済（有）意見書対応
141	余戸西二丁目、三丁目、四丁目	15,416.15	4.00	包蔵地外	公	試掘	有	柱穴	土師器	松山西署
142	余戸西四丁目、東垣生町	3,377.60	4.00	包蔵地外	公	試掘	無			
143	道後湯月町	793.00	71.30	№58	私	試掘	無			
144	来住町	14.17	40.30	№127	私	意見書	-			意見書対応
145	谷町	191.75	24.40	№41	私	試掘	無			
146	鷹子町	1,264.65	46.00	№91	私	試掘	無			
147	平井町	338.00	79.30	№90	公	試掘	無			
148	文京町	1,216.29	25.60	№67	私	意見書	-			意見書対応
149	桑原一丁目	163.56	36.20	№82	私	意見書	-			H24-278 試掘調査済（有）意見書対応
150	鷹子町	894.90	49.30	№128	私	試掘	有	柱穴・溝 竪穴住居	弥生土器	松山南署
151	辻町	1,012.87	15.70	№34	私	試掘	無			
152	文京町	25.48	25.60	№67	私	意見書	-			意見書対応
153	小坂四丁目～ 中村二丁目	158.57	28.00	№108･110･ 111･113･161	私	意見書	-			意見書対応
154	南江戸四丁目	750.00	12.40	№35	公	意見書	-			意見書対応
155	小坂二丁目	255.60	29.60	№110	私	試掘	無			
156	南久米町	184.36	44.40	№91	私	試掘	無			
157	桑原二丁目	340.00	38.70	№157	私	意見書	-			H21-89 試掘調査済（有）意見書対応
158	平井町	338.80	65.30	№152	公	意見書	-			意見書対応
159	平井町	277.80	80.40	№90	公	試掘	無			
160	鷹子町	218.50	45.70	№128	公	意見書	-			意見書対応
161	高岡町	874.98	7.30	№27	私	試掘	無			
162	高岡町	983.80	7.30	№27	私	試掘	無			
163	安城寺町	166.17	8.50	№154	私	試掘	無			
164	今在家二丁目	144.36	30.90	№125	私	意見書	-			H24-22 試掘調査済（有）意見書対応
165	西石井六丁目	277.92	21.80	№119	私	試掘	有	柱穴	弥生土器 須恵器	松山南署
166	天山一丁目	281.41	20.60	№112	私	試掘	有	溝・土坑	弥生土器	松山南署
167	船ヶ谷町	142.54	49.70	№17	私	意見書	-			H19-255 試掘調査済（無）意見書対応
168	平井町	347.38	74.00	№90	私	試掘	無			
169	桑原一丁目	140.97	37.20	№82	私	意見書	-			H24-82 試掘調査済（有）意見書対応
170	天山二丁目	279.10	31.40	№117	私	試掘	無			
171	谷町	426.58	14.20	№41	私	試掘	有	溝	弥生土器 須恵器	松山東署
172	朝美二丁目	444.37	17.20	№34	私	試掘	無			
173	持田町一丁目	2.50	35.60	№209	私	意見書	-			意見書対応
174	北斎院町	437.00	14.00	№26	私	試掘	有	竪穴住居	弥生土器	松山西署
175	平井町	326.17	59.20	№95	私	試掘	無			

平成 25 年度　松山市埋蔵文化財確認調査一覧　(6)

No.	所　在　地	面積（㎡）	標高（m）	包蔵地番号	調査目的	調査方法	遺　跡 有・無	包含層 遺　構	遺　物	備　考
176	北久米町	200.35	31.90	№126-1	私	試掘	有	溝・竪穴住居 土坑	弥生土器 須恵器	松山南署
177	祝谷二丁目	194.70	49.40	№55・ 56・57	私	試掘	有	溝	弥生土器 土師器・須恵器	松山東署
178	北久米町	144.64	33.70	№124	私	意見書	-			H24-7 試掘調査済 （無）意見書対応
179	鷹子町	895.11	49.30	№128	私	意見書	-			H25-150 試掘調査済 （有）意見書対応
180	谷町	79.70	14.30	№41	公	試掘	無			
181	小坂三丁目～ 中村二丁目	3.84	28.00	№110 №161	私	意見書	-			意見書対応
182	今在家二丁目	11.85	31.00	№125	公	意見書	-			意見書対応
183	今在家二丁目	11.55	31.00	№125	公	意見書	-			意見書対応
184	文京町	1,672.33	25.60	№67	私	意見書	-			意見書対応
185	朝美二丁目	134.07	15.80	№34	私	試掘	無			
186	祝谷四丁目	779.00	-	№55・ 56・57	私	試掘	-			保留
187	北井門一丁目	198.02	24.00	№121	私	試掘	有	溝	弥生土器 土師器	松山南署
188	南久米町	3.23	37.10	№126-1	公	意見書	-			意見書対応
189	谷町	186.50	24.40	№41	私	意見書	-			H25-145 試掘調査済 （無）意見書対応
190	祝谷四丁目	81.19	43.20	№55・ 56・57	公	試掘	無			
191	平井町	479.14	64.80	№152	私	試掘	無			
192	樽味三丁目 持田町一丁目	33.037	42.10 35.60	№81 №209	私	意見書	-			意見書対応
193	樽味四丁目	230.07	38.10	№81	私	試掘	有	柱穴 竪穴住居	弥生土器 須恵器	松山東署
194	太山寺町	358.01	16.70	№11	私	意見書	-			H22-289 試掘調査済 （無）意見書対応
195	権現町	14.00	58.10	№170-3	公	意見書	-			意見書対応
196	南江戸四丁目	208.35	12.90	№35	私	試掘	無			
197	東野一丁目	2,014.34	48.30	№81	私	試掘	有	柱穴・溝 竪穴住居・土坑	弥生土器 土師器・須恵器	松山東署
198	高岡町	874.98	7.30	№27	私	意見書	-			H25-161 試掘調査済 （無）意見書対応
199	文京町 樽味三丁目 持田町一丁目	170.01	25.60 42.10 35.60	№67 №81 №209	私	意見書	-			意見書対応
200	南久米町	128.00	38.40	№127	私	試掘	有	柱穴・溝	弥生土器 土師器・須恵器	松山南署
201	来住町	1,060.30	40.80	№127	私	試掘	-			保留
202	朝美一丁目	301.72	14.20	№33	私	試掘	有	柱穴・溝	弥生土器 土師器・須恵器	松山東署
203	小坂三丁目～ 中村一丁目	10.39	28.00	№110 №161	私	意見書	-			意見書対応
204	西石井一丁目	856.00	21.10	№119	私	試掘	有	柱穴・溝 土坑	弥生土器 土師器	松山南署
205	桑原一丁目	1,016.20	37.40	№82	私	意見書	-			H24-303 試掘調査済 （無）意見書対応
206	持田町一丁目 樽味三丁目	95.781	35.60 42.10	№81 №209	私	意見書	-			意見書対応
207	小坂五丁目	612.52	26.50	№113	私	試掘	有	柱穴・土坑	弥生土器	松山東署
208	小坂四丁目	2,271.93	25.60	№111	私	試掘	有	柱穴・溝 土坑	弥生土器 石器	松山東署
209	姫原一丁目	133.12	20.10	№168	私	意見書	-			H22-333 試掘調査済 （無）意見書対応
210	本町三丁目	469.42	20.60	№212	私	試掘	有	柱穴・土坑 竪穴住居	弥生土器	松山東署
211	天山二丁目	965.47	20.00	№117	私	試掘	無			
212	南吉田町	807.75	3.50	包蔵地外	公	試掘	無			
213	愛光町	233.31	15.10	№34	私	試掘	無			

平成 25 年度　松山市埋蔵文化財確認調査一覧　(7)

No.	所　在　地	面積（㎡）	標高（m）	包蔵地番号	調査目的	調査方法	遺　跡 有・無	包含層 遺　構	遺　　物	備　　考
214	道後緑台	154.75	35.40	№55・ 56・57	私	意見書	-			H25-115 試掘調査済 （有）意見書対応
215	今在家二丁目	123.91	31.00	№125	私	意見書	-			H25-111 試掘調査済 （有）意見書対応
216	道後北代	274.44	31.60	№55・ 56・57	私	意見書	-			H25-106 試掘調査済 （無）意見書対応
217	鷹子町	1,047.00	49.80	№128	私	試掘	有	柱穴・溝 土坑	土師器・ 須恵器・埴輪	松山南署
218	山越一丁目	220.40	17.50	№160	私	試掘	無			
219	小坂二丁目	92.35	29.20	№110	私	意見書	-			H18-10 試掘調査済 （無）意見書対応
220	南久米町	114.1987	40.20	№127	私	試掘	有	柱穴・溝	弥生土器 須恵器	松山南署
221	東石井三丁目	358.87	37.00 35.50	№118	私	試掘	有	墳丘・周溝	弥生土器 須恵器	松山南署
222	祝谷五丁目	211.75	45.30	№55・ 56・57	私	試掘	無			
223	鷹子町	409.81	41.70	№128	私	試掘	無			
224	東野一丁目	238.52	48.20	№81	私	試掘	有	柱穴		
225	文京町	17.29	25.60	№67	私	意見書	-			意見書対応
226	文京町	93.84	25.60	№67	私	意見書	-			意見書対応
227	福角町	415.69	29.00	№170-1	私	試掘	無			
228	御幸二丁目	191.65	-	№46	私	試掘	-			保留
229	津吉町	2,900.00	85.00	№147	公	踏査 試掘	無			
230	南江戸五丁目	0.96	28.00	№33	公	意見書	-			意見書対応
231	天山一丁目	2.10	20.60	№112	公	意見書	-			意見書対応
232	朝美二丁目	3.40	15.80	№34	公	意見書	-			意見書対応
233	中村二丁目	1,043.00	27.60	№110 №161	私	試掘	有	柱穴・溝	弥生土器	松山東署
234	文京町	88.54	25.60	№67	私	意見書	-			意見書対応
235	辻町	435.00	14.60	№34	私	試掘	無			
236	平井町	185.13	59.20	№95	私	意見書	-			H25-175 試掘調査済 （無）意見書対応
237	南江戸四丁目	339.72	13.30	№35	私	意見書	-			H13-370 試掘調査済 （無）意見書対応
238	下伊台町	170.76	143.10	№169	私	試掘	無			
239	小坂四丁目	134.68	24.40	№110	私	意見書	-			H25-32 試掘調査済 （無）意見書対応
240	南江戸五丁目	5.03	28.00	№33	公	意見書	-			意見書対応
241	太山寺町	755.00	2.40	№173	私	試掘	無			
242	若草町	1,068.56	21.50	№212	私	意見書	-			H23-200 試掘調査済 （有）意見書対応
243	道後樋又	3,870.86	26.90	№67	私	試掘	有	溝	土師器 須恵器	松山東署
244	小坂三丁目	1,703.51	27.40 28.60	№110	私	意見書	-			H25-65、H25-66 試掘調査済（有） 意見書対応
245	桑原五丁目	304.41	36.30	№82	私	意見書	-			H21-307 試掘調査済 （有）意見書対応
246	高岡町	2.68	7.30	№27	公	意見書	-			意見書対応
247	谷町	136.00	14.20	№41	私	意見書	-			H25-171 試掘調査済 （有）意見書対応
248	太山寺町	705.00	2.90	№15	私	試掘	無		弥生土器 須恵器	松山西署
249	東本二丁目	396.70	31.40	№82	私	試掘	有	溝	土師器	松山東署
250	太山寺町	1,213.00	9.80	№10	私	意見書	-			意見書対応

表３　平成 25 年度　松山市埋蔵文化財本格調査一覧

遺跡番号	遺跡名	所在地	調査目的	時代	主な遺構・遺物等	本格対象面積（㎡）	屋外調査期間
５６４	祝谷大地ヶ田遺跡４次調査	祝谷四丁目 990 番 1、六丁目 1027 番 5、1034 番の各一部、1027 番 6	緊急	弥生～古墳 古代～中世	土坑、溝、柱穴、古墳 弥生土器、土師器、須恵器、石器、鉄器、装飾品、種子	1,239	H25.4.25 ～ H25.7.12
５６５	桑原遺跡６次調査	桑原一丁目 796 番 1、813 番の各一部	緊急	弥生～中世	竪穴住居、溝、柱穴 弥生土器、土師器	116.15	H25.5.7 ～ H25.6.7
５６６	今在家遺跡３次調査	今在家二丁目 291 番 1	緊急	古墳・中世	柱穴、性格不明遺構 土師器、須恵器、轡	約 36	H25.5.13 ～ H25.5.22
５６７	大峰ヶ台遺跡 13 次調査	南江戸五丁目 1491 番の一部	緊急	弥生～古墳	周溝、土坑、溝、柱穴 弥生土器、土師器、須恵器、埴輪、鉄器、石器、骨	約 36	H25.6.10 ～ H25.6.28
５６８	文京遺跡 53 次調査	文京町２番１の一部	緊急	縄文～中世	溝、自然流路、柱穴 縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、石器、動物骨	819	H25.7.8 ～ H25.8.30
５６９	松山城三之丸跡 16 次調査	堀之内 13 番１の一部 外　（史跡内）	史跡整備	近世	三之丸御殿石垣、御殿西側の南北方向道路、御殿南側の東西方向道路 瓦、陶磁器、鉛玉、金銅製飾金具、鉄釘、煙管	約 187	H25.9.20 ～ H26.2.10
５７０	文京遺跡 54 次調査	文京町２番１の一部	緊急	縄文～中世	焼土、炭化材、流路、土坑、柱穴、鋤跡 縄文土器、弥生土器、須恵器、土師器	1,079	H25.10.1 ～ H25.12.13
５７１	西石井遺跡６次調査	西石井五丁目 208 番１の一部	緊急	弥生～中世	竪穴住居、掘立柱建物跡、井戸跡、土坑、溝、柱穴 弥生土器、土師器、須恵器、分銅形土製品、石器、紡錘車、管玉	135.39	H25.10.10 ～ H25.11.16
５７２	清水町遺跡２次調査	清水町一丁目８番７の一部	緊急	中世～近世	土坑、柱穴 須恵器、土師器、陶磁器、瓦	（17 ＋ 75.3） 92.3	H25.10.10 ～ H25.10.27
５７３	久米窪田古屋敷遺跡２次調査	久米窪田町 849 番１の一部	緊急	縄文～古墳	溝、土坑、柱穴 縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、石器	175.65	H25.11.25 ～ H25.12.27
５７４	東野森ノ木遺跡５次調査	東野一丁目甲 56 番５の一部	緊急	縄文～中世	竪穴住居、土坑、柱穴、掘立柱建物跡 縄文土器、弥生土器、須恵器、土師器	約 332	H26.2.3 ～ H26.3.28
	白石ノ鼻確認調査Ⅱ	勝岡町及び高浜町六丁目	国補	江戸	矢穴痕	約 3,100	H26.1.6 ～ H26.3.18

平成 25 年度　松山市埋蔵文化財本格調査位置図

（S = 1 ：80,000）

Ⅲ　平成 25 年度
出土物整理・保存処理事業

平成 25 年度　出土物整理・保存処理事業

1. 出土物整理

当埋蔵文化財センターでは、近年行われた発掘調査の整理作業を行い、並行して過去に行われた調査資料の整理作業も行っている。

主に報告書が刊行される遺跡の出土遺物については、洗浄、注記、接合、復元、実測、報告書用遺物写真撮りを行っている。また、収蔵庫整理では、報告書の刊行された遺跡資料を主体に選別作業をし、収納を行う。特に、展示や類例調査等で使用頻度の高い資料については、収蔵一覧を作成し、特別収蔵庫に一括保管した。遺構測量図、遺物実測図、作業日誌、報告書原図・版下は収蔵庫の所定の場所に保管した。

(1) 遺物洗浄・注記・接合・復元作業

仕分け作業の終了した土器や速報展等の展示会に展示する土器などは順次接合、石膏にて復元、復元部分の着色作業を行っている。以下作業を行った遺跡名を記す。

表 1　遺物接合・復元作業一覧　(1)

遺跡 No.	遺　跡　名	天箱数	点　数	調査年度	刊　行　物	備　考
72	畑寺竹ヶ谷遺跡	6		昭和 57 年度	未報告	
107	船ヶ谷向山古墳	18	2	昭和 63 年度	松山市文化財調査報告書第 168 集	報告書用
107	船ヶ谷向山古墳		1	昭和 63 年度	松山市文化財調査報告書第 168 集	出前講座用
117	道後城北 RNB 遺跡		5	昭和 62 年度	松山市文化財調査報告書第 169 集	報告書用
133	来住廃寺 5 次調査		3	昭和 62 年度	松山市埋蔵文化財調査年報Ⅱ	
158	天山川附遺跡		6	平成元年度	未報告	
244	松山大学構内遺跡 3 次調査		1	平成 4・5 年度	松山市文化財調査報告書第 49 集	
354	来住町遺跡 9 次調査		8	平成 11 年度	松山市埋蔵文化財調査年報 12	
356	小坂七ノ坪遺跡 3 次調査		42	平成 11 年度	松山市文化財調査報告書第 172 集	報告書用
361	釜ノ口遺跡 9 次調査		46	平成 11 年度	松山市文化財調査報告書第 174 集	報告書用
451	来住廃寺 32 次調査		1	平成 17 年度	松山市埋蔵文化財調査年報 18	
537	樽味高木遺跡 17 次調査	2		平成 21 年度	松山市埋蔵文化財調査年報 22	
547	星岡遺跡 3 次調査		3	平成 22 年度	松山市埋蔵文化財調査年報 23	
556	来住廃寺 39 次調査	15		平成 24 年度	松山市埋蔵文化財調査年報 25	
561	松山城本丸跡 6 次調査		2	平成 24 年度	松山市埋蔵文化財調査年報 25	展示用
563	祝谷大地ヶ田遺跡 3 次調査	35		平成 24 年度	松山市埋蔵文化財調査年報 25	
564	祝谷大地ヶ田遺跡 4 次調査	35		平成 25 年度	松山市埋蔵文化財調査年報 26	現説用
564	祝谷大地ヶ田遺跡 4 次調査 祝谷 7 号墳	1	2	平成 25 年度	松山市埋蔵文化財調査年報 26	現説用
564	祝谷大地ヶ田遺跡 4 次調査 祝谷 8 号墳		3	平成 25 年度	松山市埋蔵文化財調査年報 26	現説用
565	桑原遺跡 6 次調査		8	平成 25 年度	松山市埋蔵文化財調査年報 26	概報用
567	大峰ヶ台遺跡 13 次調査		2	平成 25 年度	松山市埋蔵文化財調査年報 26	概報用
570	文京遺跡 54 次調査		3	平成 25 年度	松山市埋蔵文化財調査年報 26	現説用
572	清水町遺跡 2 次調査	2	1	平成 25 年度	松山市埋蔵文化財調査年報 26	概報用
	姫原 1 丁目試掘調査	4				

遺物接合・復元作業一覧 (2)

遺跡 No.	遺　跡　名	天箱数	点　数	調査年度	刊　行　物	備　考
	東温市伽藍 1 号窯跡		2			展示用
	宮前川遺跡		8			展示用

(2) 遺物実測・整理・収蔵・図面整理作業

出土遺物は報告書作成計画に準じ、実測分、良品、胴部片に仕分けし、順次遺物実測、実測図のトレース作業を行っている。また、遺構測量図面についても整理作業を行っている。以下作業を行った遺跡名を記す。

表 2　遺物実測・整理・収蔵・図面整理作業一覧

遺跡 No.	遺　跡　名	作 業 内 容	備　考
472	本谷遺跡	遺物実測・整理・収蔵・図面整理	26 年度刊行予定
474	高田遺跡	遺物実測・整理・収蔵・図面整理	26 年度刊行予定
496	星岡遺跡 1 次調査	遺物実測・整理・収蔵・図面整理	26 年度刊行予定
547	星岡遺跡 3 次調査	遺物実測・整理・収蔵・図面整理	26 年度刊行予定
390	久米才歩行遺跡 7 次調査	遺物実測・整理・収蔵・図面整理	26 年度刊行予定
254	久米高畑遺跡 22 次調査	遺物実測・整理・収蔵・図面整理	26 年度刊行予定
348	久米高畑遺跡 41 次調査	遺物実測・整理・収蔵・図面整理	26 年度刊行予定
272	来住町遺跡 5 次調査	遺物実測・整理・収蔵・図面整理	26 年度刊行予定
294	来住町遺跡 7 次調査	遺物実測・整理・収蔵・図面整理	26 年度刊行予定
354	来住町遺跡 9 次調査	遺物実測・整理・収蔵・図面整理	26 年度刊行予定

(3) 遺物写真・現像・整理作業

25 年度に報告書刊行予定の遺跡について、掲載遺物の写真撮影、現像、版組を行っている。また、既往調査のネガ整理、台帳作成のほか、リバーサルフィルムの再収納によるスペース確保を行った。

ネ ガ：35mm 判と 6 × 7 判は、注記や台帳作成作業が終わり次第、写真整理室の所定の場所に収納する。4 × 5 判は写真担当者が一括で整理、収納する。

データ：教育普及用など、保存目的でないものや、多機関への貸し出しなどはデジタルデータ化した写真が主になっている。デジタルカメラでの撮影の他、フィルムをスキャンして要望に応じたデータを作成している。

以下作業を行った報告書名を記す。

表 3　遺物写真・現像・整理作業一覧

報告書 No.	報　告　書　名	所収遺跡数	備　考
	年報 25	12	25 年度刊行
168	三味線山古墳・船ヶ谷向山古墳	2	25 年度刊行
169	道後城北遺跡群Ⅲ	6	25 年度刊行
170	中村松田遺跡 4 次調査	1	25 年度刊行
171	国庫補助市内遺跡発掘調査報告書	2	25 年度刊行
172	国庫補助市内遺跡発掘調査報告書	2	25 年度刊行
173	松山市内遺跡詳細分布調査		25 年度刊行
174	釜ノ口遺跡Ⅲ	3	25 年度刊行
	その他刊行物		
	展示解説書　特別展『出土文字から探る古代の松山』		25 年度刊行

（4）遺物再収納作業

収蔵庫の収納スペースを確保する事を目的とし、報告書が刊行された遺跡出土遺物の再収納作業も行っている。以下作業を行った遺跡名を記す。

表４　遺物再収納作業一覧

遺跡 No.	遺　跡　名	収納数（箱）	再収納数（箱）	調査年度	刊　行　物
385	桑原遺跡５次調査	6	4	平成 13 年	松山市文化財調査報告書 第 90 集
398	潮見山古墳	5	1	平成 13 年	松山市文化財調査報告書 第 104 集
401－1･2	上苅谷遺跡３・４次調査	35	22	平成 14 年	松山市文化財調査報告書 第 117 集
404 1－A	枝松遺跡６次調査	1	1	平成 14 年	松山市文化財調査報告書 第 117 集
404 1－B	樽味四反地遺跡７次調査	8	5	平成 14 年	松山市文化財調査報告書 第 117 集
404 2－A	樽味四反地遺跡８次調査	25	18	平成 15 年	松山市文化財調査報告書 第 117 集
404 2－B	樽味高木遺跡７次調査	8	5	平成 15 年	松山市文化財調査報告書 第 117 集
404 3－A	樽味高木遺跡８次調査	19	15	平成 15 年	松山市文化財調査報告書 第 117 集
404 3－B	樽味立添遺跡３次調査	11	9	平成 15 年	松山市文化財調査報告書 第 117 集
404 3－C	樽味高木遺跡９次調査	10	8	平成 15 年	松山市文化財調査報告書 第 117 集
404 3－D	東野森ノ木遺跡	8	5	平成 15 年	松山市文化財調査報告書 第 117 集
404 4－A	東野森ノ木遺跡２次調査	12	7	平成 16 年	松山市文化財調査報告書 第 117 集
404 4－B	樽味四反地遺跡９次調査	14	11	平成 16 年	松山市文化財調査報告書 第 117 集
404 4－C	樽味高木遺跡 11 次調査	20	19	平成 16 年	松山市文化財調査報告書 第 117 集
404 4－D	東野森ノ木遺跡３次調査	2	2	平成 16 年	松山市文化財調査報告書 第 117 集
404 4－E	樽味四反地遺跡 11 次調査	1	1	平成 16 年	松山市文化財調査報告書 第 117 集
404 4－F	東野森ノ木遺跡４次調査	4	2	平成 16 年	松山市文化財調査報告書 第 117 集

2. 保存処理

Ⅰ．保存処理の概要

保存処理室では主に木製品（ＰＥＧ含浸処理）、金属製品（減圧樹脂含浸）の保存処理を行っており、必要に応じて現場に出向き、遺構・遺物の取り上げ、土層の剥ぎ取り作業も行っている。

金属製遺物：保存処理は基本的に当センターで行なうが、特殊な資料やＸ線撮影は外部委託している。今年度の重要資料の外部委託は青銅鏡（重圏文日光鏡）のレプリカ作成、鉄剣１点、鉄鎌１点、小刀１点、銭４点の保存処理を株式会社文化財ユニオンに委託した。

木製・植物性遺物：木製品や種実は自然科学分析を外部委託し、保存処理は当センターで行なっている。今年度の自然科学分析外部委託は、久米窪田森元遺跡４次調査より出土した木製遺物 22 点の樹種同定を株式会社古環境研究所に依頼した。分析結果を、松山市文化財調査報告書第 161 集第４章（久米窪田森元遺跡４次調査）の追加資料として本章 3. に掲載します。

動物遺骸体：洗浄や保護処理は当センターで行い、人骨の鑑定、獣種同定は外部委託している。今年度の鑑定、同定の外部委託はしていない。

Ⅱ．保存処理実務

(1) 木製品の保存処理

ＰＥＧ（ポリエチレングリコール）含浸処理を行っている。このＰＥＧ含浸法は、木製品中の水分をＰＥＧに置き換える方法で、20％の水溶液に木製品を浸し、漸次、濃度を高めていき最終段階では100％濃度のＰＥＧ溶液をしみこませることになる。この処理は１～ 1.5 年位を要する。以下、処理を行った点数を下表に記す。

表１　木製品保存処理遺跡一覧

遺跡 No.	遺跡名	点数	器種	刊行物
84	松山城二之丸跡１次調査	2	板材	
176	西天山遺跡１次調査	1	加工材	
207	宮前川三本柳遺跡	1	板材	
213	辻町遺跡	3	柱材・杭・薪	松山市文化財調査報告書 第 29 集
229	古照遺跡８次調査	4	桶（底板）ほか	松山市文化財調査報告書 第 53 集
251	上野遺跡１次調査	2	杭	松山市文化財調査報告書 第 39 集
310 －③	五楽遺跡３次調査	1	杭	松山市文化財調査報告書 第 103 集
336	船ヶ谷遺跡３次調査	1	曲物	松山市文化財調査報告書 第 73 集
370	船ヶ谷遺跡４次調査	18	板材ほか	松山市文化財調査報告書 第 88・95 集
376 1 － C	桑原遺跡４次調査４区	20	板材・切屑・薪ほか	松山市文化財調査報告書 第 105 集
405 7 － A	中村松田遺跡５次調査	19	匙形・曲物・柄ほか	松山市文化財調査報告書 第 153 集
438 － 1	道後湯月町遺跡	23	板状・切屑・薪ほか	松山市文化財調査報告書 第 123 集
509	朝美辻遺跡	19	蹴放し・板材・錘ほか	松山市埋蔵文化財調査年報 21
524	古川遺跡４次調査	10	板・杭・棒状割材ほか	松山市文化財調査報告書 第 146 集
547	星岡遺跡３次調査	1	柱材	松山市埋蔵文化財調査年報 23
	松山城三之丸跡南口土塁	15	杭	
	試掘　Ｈ 18 － 26	1	炭化材	
	試掘　Ｈ 20 － 101	2	杭	
	試掘　Ｈ 21 － 149	1	杭	
	久米地区公共工事（中単－ 2609）	5	棺桶材	

表２　植物遺存体保存処理遺跡一覧

遺跡 No.	遺跡名	点数	器種	刊行物
405７－Ａ	中村松田遺跡５次調査	5	蔓・ジュズ・柿？ほか	松山市文化財調査報告書 第153集
438－１	道後湯月町遺跡	5	ジュズ・桃核ほか	松山市文化財調査報告書 第123集
524	古川遺跡４次調査	8	ジュズ・桃核・瓢箪ほか	松山市文化財調査報告書 第146集

(2) 金属製品の保存処理

前処理（脱水・脱塩・安定化処理）を行い、順次クリーニング（付着しているゴミ・土壌・サビ等の除去)、減圧樹脂含浸を行っている。また、処理の終了した遺物は、収納システム（三菱ガス科学･ＲＰシステム）により収納後、特別収蔵庫に保管している。以下、処理を行った点数を下表に記す。

表３　金属製品保存処理遺跡一覧

遺跡 No.	遺跡名	点数	作業工程	刊行物
66	三味線山古墳	67	処理済・特別収蔵庫保管	
84	松山城二之丸跡１次調査	7	処理済・特別収蔵庫保管	
94	松山城二之丸跡２次調査	689	処理済・特別収蔵庫保管	
383	西石井荒神堂遺跡２次調査	1	処理済・特別収蔵庫保管	松山市埋蔵文化財調査年報13
448－１	北条片町遺跡	3	処理済・特別収蔵庫保管	松山市埋蔵文化財調査年報18
458	東石井遺跡３次調査	1	処理済・特別収蔵庫保管	松山市埋蔵文化財調査年報18

(3) 動物遺骸体の保存処理

人骨､獣骨とも大部分のものが､土とともに出土した状態で搬入される｡処理室ではこの余分な土を、竹べら・竹串・針先・ピンセットなどを用いて、徐々に取り除いて骨の取り出しを行っている。脆い状態のものはアクリル系合成樹脂を塗布し、乾燥、硬化させてから少しずつ土を取り除き、現れた部分にまた樹脂を塗る。この繰り返しを行って取り出した骨は､最後に樹脂溶液に浸し漬けして全体(内部まで）を強化し保護する。今年度は実施していない。

(4) 遺構・遺物の取り上げ作業

発掘調査で検出される遺物は腐食し、脆弱化しているためそのまま取り上げることが困難なものがある。また、ほとんどの調査の場合、発掘した遺構を現場で保存できない。このような場合に遺構・遺物の取り上げを行う。遺物が小さい場合は簡易な方法で行い（骨を土ごと取り上げること、年報11, 保存処理事業Ｉ－３参照)、遺物が大きく重量が増す場合は発泡ウレタン樹脂を用いて対象物全体を固めて取り上げる（年報Ｘ , 保存処理事業Ｉ－３参照)。この発泡ウレタン樹脂での梱包は従来使用していた石膏やコンクリートでの梱包より軽く仕上がり、搬出、運搬の作業が軽減される。室内に搬入した後、時間をかけて精査することによって、発掘期間中に屋外で調査する以上の成果を期待できることも多い。発掘現場からの要請はなく、今年度は実施していない。

(5) 土層の剥ぎ取り転写

転写面にエポキシ系樹脂を塗り、樹脂の補強のためガーゼなどで裏打ちを行い、樹脂が硬化後転写面より剥ぎ取る。剥ぎ取った土層は、パネル仕上げにして展示、保管する。この土層の剥ぎ取りは、発掘後も室内で実物をあらゆる角度から精査できる効果的な記録保存法ともなる｡発掘現場からの要請はなく､今年度は実施していない。

参考文献　１～５　奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター『埋蔵文化財ニュース 16・24・28・31』

3. 久米窪田森元遺跡４次調査における樹種同定報告

株式会社古環境研究所

1. はじめに

本報告では、久米窪田森元遺跡４次調査より出土した木製品に対して、木材解剖学的手法を用いて樹種同定を行う。木製品の材料となる木材は、セルロースを骨格とする木部細胞の集合体であり、解剖学的形質から、概ね属レベルの同定が可能である。木材は、花粉などの微化石と比較して移動性が少ないことから、比較的近隣の森林植生の推定が可能であるが、木製品では樹種による利用状況や流通を探る手がかりにもなる。

2. 試料と方法

試料は、久米窪田森元遺跡４次調査より出土した加工品片、匙、棒状品、杭、薪など弥生の木製品６点と、曲物（底板）、下駄、木簡片？、棒状品、板状品、杭、薪など古代の木製品 16 点の合計 22 点である。

樹種方法は、以下の方法で行った。まず、これらの木製品からあらかじめ採取された小片に対して、カミソリを用いて新鮮な横断面（木口と同義）、放射断面（柾目と同義）、接線断面（板目と同義）の基本三断面の切片を作製し、生物顕微鏡によって 40 ～ 1000 倍で観察した。同定は、解剖学的形質および現生標本との対比によって行った。

3. 結果

下表に結果を示し、主要な分類群の顕微鏡写真を示す。以下に同定根拠となった特徴を記す。

表１　久米窪田森元遺跡４次調査における樹種同定結果

No.	器種	出土遺構・層位	取上 No.	時期	結果（学名 / 和名）	
1	加工品片	SR5	WNo.1	弥生	*Chamaecyparis obtusa* Endl.	ヒノキ
2	匙	SR5		弥生	*Illicium religiosum* Sieb. et Zucc.	シキミ
3	杭	SR5		弥生	*Castanopsis*	シイ属
4	杭	SR5		弥生	ring-popous wood	環孔材
5	下駄	SK9		古代	*Chamaecyparis obtusa* Endl.	ヒノキ
6	木簡片？	SR3		古代	*Chamaecyparis obtusa* Endl.	ヒノキ
7	杭状	SR3		古代	*Pinus* subgen. *Diploxylon*	マツ属複維管束亜属
8	杭状	SR3		古代	*Salix*	ヤナギ属
9	杭状	SR3		古代	*Pinus* subgen. *Diploxylon*	マツ属複維管束亜属
10	曲物（底板）	SR4		古代	*Chamaecyparis obtusa* Endl.	ヒノキ
11	曲物（底板）	SR4		古代	*Chamaecyparis obtusa* Endl.	ヒノキ
12	曲物（底板）	SR4		古代	*Chamaecyparis obtusa* Endl.	ヒノキ
13	曲物（底板）	SR4		古代	*Chamaecyparis obtusa* Endl.	ヒノキ
14	棒状品	SR4		古代	*Chamaecyparis obtusa* Endl.	ヒノキ
15	板状品	SR4		古代	*Pinus* subgen. *Diploxylon*	マツ属複維管束亜属
16	破片	SR4		古代	*Chamaecyparis obtusa* Endl.	ヒノキ
17	杭	SR4		古代	*Pinus* subgen. *Diploxylon*	マツ属複維管束亜属
18	薪	SR3		古代	*Pinus* subgen. *Diploxylon*	マツ属複維管束亜属
19	杭	SR3		古代	*Chamaecyparis obtusa* Endl.	ヒノキ
20	薪	SR3		古代	*Pinus* subgen. *Diploxylon*	マツ属複維管束亜属
21	薪	SR5		弥生	*Quercus* subgen. *Cyclobalanopsis*	コナラ属アカガシ亜属
22	棒状品	SR5		弥生	*Abies*	モミ属

1）モミ属　*Abies*　マツ科　写真１

仮道管と放射柔細胞から構成される針葉樹材である。

横 断 面：早材から晩材への移行は比較的緩やかである。

放射断面：放射柔細胞の分野壁孔は小型のスギ型で１分野に１～４個存在する。放射柔細胞の壁が厚く、じゅず状末端壁を有する。

接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型である。

以上の形質よりモミ属に同定される。モミ属は日本に５種が自生し、その内ウラジロモミ、トドマツ、シラビソ、オオシラビソの４種は亜寒帯に分布し、モミは温帯を中心に分布する。常緑高木で高さ 45 m、径 1.5 mに達する。材は保存性が低く軽軟であるが、現在では多用される。

2）マツ属複維管束亜属　*Pinus* subgen. *Diploxylon*　マツ科　写真２

仮道管、放射柔細胞、放射仮道管及び垂直、水平樹脂道を取り囲むエピセリウム細胞から構成される針葉樹材である。

横 断 面：早材から晩材への移行は急で、垂直樹脂道が見られる。

放射断面：放射柔細胞の分野壁孔は窓状である。放射仮道管の内壁には鋸歯状肥厚が存在する。

接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型であるが、水平樹脂道を含むものは紡錘形を呈する。

以上の形質よりマツ属複維管束亜属に同定される。マツ属複維管束亜属には、クロマツとアカマツがあり、どちらも北海道南部、本州、四国、九州に分布する常緑高木である。材は水湿によく耐え、広く用いられる。

3）ヒノキ　*Chamaecyparis obtusa* Endl.　ヒノキ科　写真３･４

仮道管、樹脂細胞および放射柔細胞から構成される針葉樹材である。

横 断 面：早材から晩材への移行はゆるやかで、晩材部の幅はきわめて狭い。樹脂細胞が見られる。

放射断面：放射柔細胞の分野壁孔は、ヒノキ型で１分野に１～３個であるが、２個存在するものがほとんどである。

接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型で、１～10 細胞高である。

以上の形質よりヒノキに同定される。ヒノキは福島県以南の本州、四国、九州、屋久島に分布する。日本特産の常緑高木で、通常高さ 40 m、径 1.5 mに達する。材は木理通直、肌目緻密で強靭であり、耐朽性、耐湿性ともに高い。良材であり、建築など広く用いられる。

4）ヤナギ属　*Salix*　ヤナギ科　写真５

横 断 面：小型で丸い、放射方向にややのびた道管が、単独あるいは２～３個放射方向に複合し、散在する散孔材である。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、道管相互の壁孔は交互状で密に分布する。放射組織は異性である。

接線断面：放射組織は、単列の異性放射組織型である。

以上の形質よりヤナギ属に同定される。ヤナギ属は落葉の高木または低木で、北海道、本州、四国、九州に分布する。

5）シイ属　*Castanopsis*　ブナ科　写真６

横 断 面：年輪のはじめに中型から大型の道管がやや疎に数列配列する環孔材である。晩材部で小道管が火炎状に配列する。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型のものが存在する。

以上の形質よりシイ属に同定される。シイ属は本州（福島県、新潟県佐渡以南）、四国、九州に分布する。

常緑高木で、高さ 20 m、径 1.5 mに達する。材は耐朽性、保存性はやや低く、建築、器具などに用いられる。

6）コナラ属アカガシ亜属　*Quercus* subgen. *Cyclobalanopsis*　ブナ科　写真７

横 断 面：中型から大型の道管が、１～数列幅で年輪界に関係なく放射方向に配列する放射孔材である。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面：放射組織は同性放射組織型で、単列のものと大型の広放射組織からなる複合放射組織である。

以上の形質よりコナラ属アカガシ亜属に同定される。コナラ属アカガシ亜属にはアカガシ、イチイガシ、アラカシ、シラカシなどがあり、本州、四国、九州に分布する。常緑高木で、高さ 30 m、径 1.5 m以上に達する。材は堅硬で強靭、弾力性が強く耐湿性も高い。特に農耕具に用いられる。

7）シキミ　*Illicium religiosum* Sieb. et Zucc.　モクレン科　写真８

横 断 面：小型で角張った道管が、ほぼ単独で密に分布する散孔材である。早材部の年輪界付近に於いて、道管が少し並ぶ傾向を示す。

放射断面：道管の穿孔は階段穿孔板からなる多孔穿孔で、階段の数は多く 40 を超える。放射組織は平伏細胞、方形細胞、直立細胞からなる。

接線断面：放射組織は、異性放射組織型で、１～２細胞幅で、単列部が太い。

以上の形質よりシキミに同定される。シキミは、関東以西の本州、四国、九州、沖縄に分布する。常緑の小高木で、高さ 10 m、径 30cm に達する。材は、強さ中庸で、旋作、器具、薪などに用いられる。

8）環孔材　ring-popous wood　写真９

横 断 面：部分的ではあるが、年輪のはじめに中型の道管が見られる。孔圏部外の小道管は単独あるいは主に放射方向に２～３個複合したものが見られる。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は異性である。

接線断面：放射組織は異性放射組織型で、１～３細胞幅ぐらいである。

以上の形質より環孔材に同定される。なお本試料は、ウルシ属、ヤマグワなどに類似する点も見られるが、保存状態が悪く広範囲にわたる観察が困難であり、不明瞭な点が多いことから環孔材の同定にとどめる。

4. 考察

同定の結果、久米窪田森元遺跡４次調査の木製品 22 点は、ヒノキ 10 点、マツ属複維管束亜属６点、モミ属１点、ヤナギ属１点、シイ属１点、コナラ属アカガシ亜属１点、シキミ１点、環孔材１点であった。

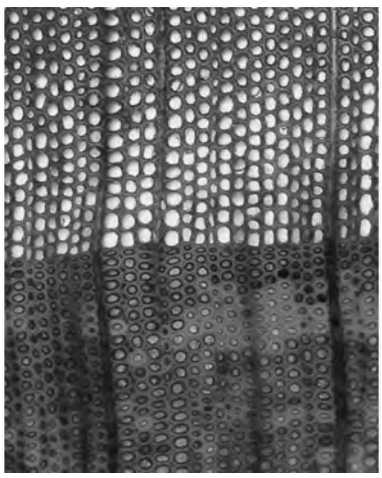
弥生の木製品６点では、モミ属１点、ヒノキ１点、シイ属１点、コナラ属アカガシ亜属１点、シキミ１点、環孔材１点であった。匙はシキミ属で、強さ中庸で比較的硬い材である。棒状品はモミ属で、加工品片はヒノキである。杭２点はシイ属と環孔材、薪はコナラ属アカガシ亜属であり、周囲に生育していた広葉樹が用いられる。

古代の木製品 16 点では、ヒノキ９点、マツ属複維管束亜属６点、ヤナギ属１点であった。ヒノキが多く、下駄、木簡片？、曲物（底板）、棒状品、杭などに使用され多用される。杭、薪および杭状品や板状品は、マツ属複維管束亜属が使用されている。他に杭状品ではヤナギ属が使用されている。古代では、明らかにヒノキ材が多用され、杭や薪などにはマツ属複維管束亜属が用いられる。マツ属複維管束亜属は二次林種のアカマツが考えられ、遺跡の周辺が二次林化していた可能性がある。

参考文献

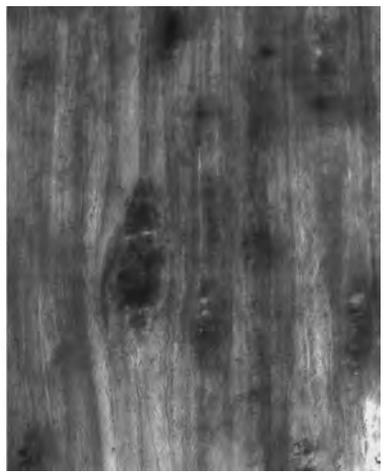
佐伯浩・原田浩　（1985）針葉樹材の細胞．木材の構造，文永堂出版，p.20-48.
佐伯浩・原田浩　（1985）広葉樹材の細胞．木材の構造，文永堂出版，p.49-100.
島地謙・伊東隆夫（1988）日本の遺跡出土木製品総覧，雄山閣，p.296.
山田昌久　（1993）日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成，植生史研究特別第１号，植生史研究会，p.242.

久米窪田森元遺跡４次調査の木製品　Ⅰ（木材組織顕微鏡写真）



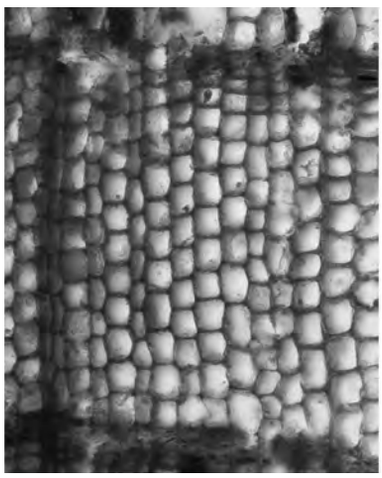
横断面 ――――――：0.2mm　放射断面 ――――――：0.05mm　接線断面――――――：0.2mm

1.　22　棒状品　モミ属



横断面 ――――――：0.2mm　放射断面 ――――――：0.05mm　接線断面――――――：0.2mm

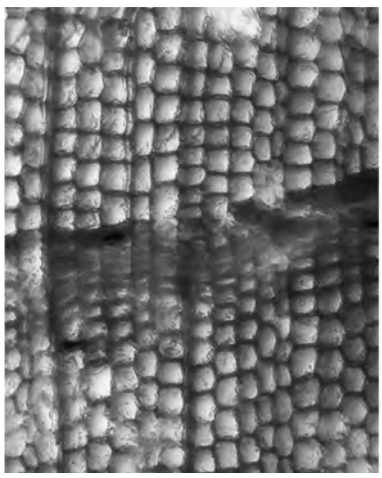
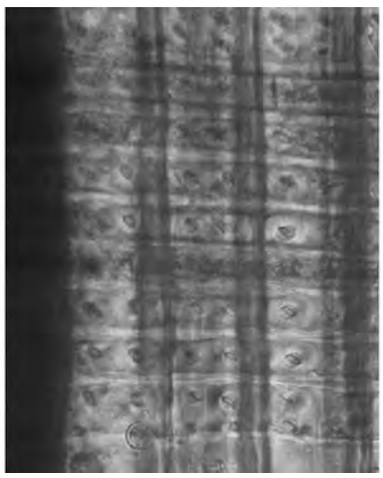
2.　18　薪　マツ属複維管束亜属



横断面 ――――――：0.2mm　放射断面 ――――――：0.05mm　接線断面――――――：0.2mm

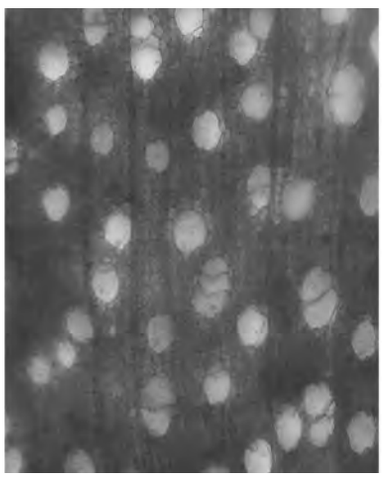
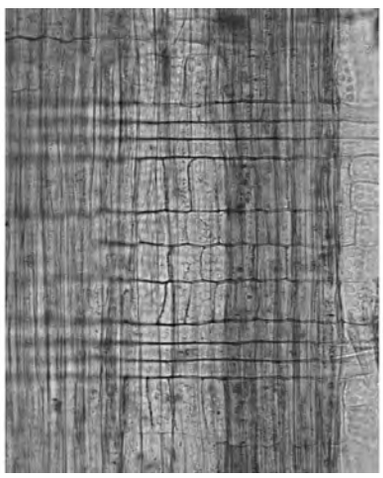
3.　12　曲物（底板）　ヒノキ

久米窪田森元遺跡４次調査の木製品　Ⅱ（木材組織顕微鏡写真）

横断面 ――――――：0.2mm　放射断面――――――：0.05mm　接線断面――――――：0.2mm

4.　13　曲物（底板）　ヒノキ

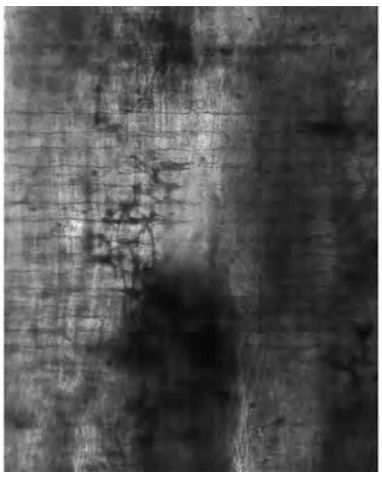
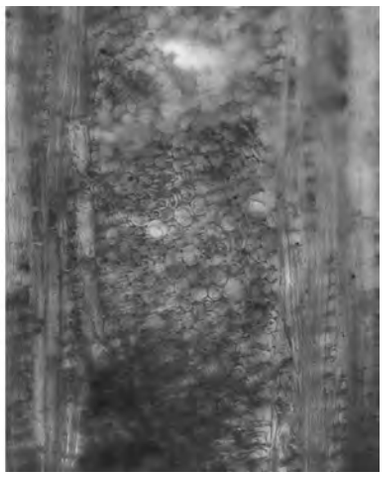
横断面 ――――――：0.2mm　放射断面――――――：0.1mm　接線断面――――――：0.1mm

5.　8　杭状　ヤナギ属

横断面 ――――――：0.5mm　放射断面――――――：0.2mm　接線断面――――――：0.2mm

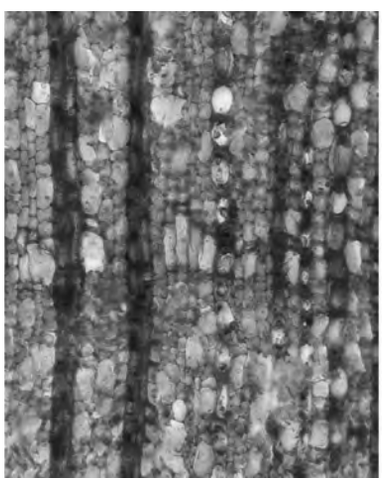
6.　3　杭　シイ属

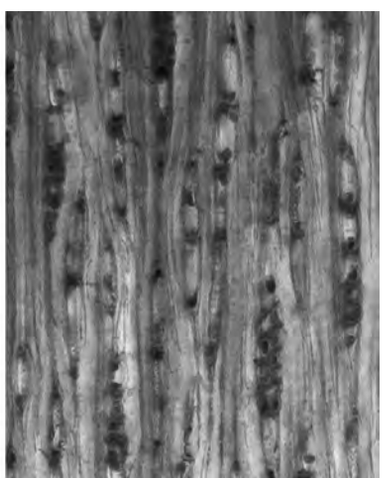
久米窪田森元遺跡４次調査の木製品　Ⅲ（木材組織顕微鏡写真）

横断面 ―――― ：0.5mm　放射断面 ――――：0.2mm　接線断面――――：0.2mm

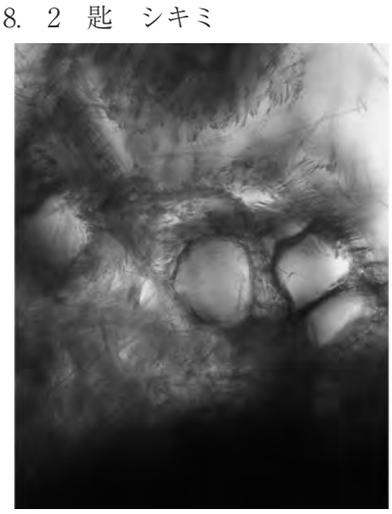
7.　21　薪　コナラ属アカガシ亜属





横断面 ―――― ：0.2mm　放射断面 ――――：0.1mm　接線断面――――：0.2mm

8.　2　匙　シキミ



横断面 ―――― ：0.2mm　放射断面 ――――：0.2mm　接線断面――――：0.2mm

9.　4　杭　環孔材

Ⅳ　平成 25 年度
普 及 啓 発 事 業

平成 25 年度の普及啓発事業

当埋蔵文化財センターは、松山市内における遺跡の発掘調査を行うとともに、出土遺物や記録資料などを整理・保管している。発掘調査終了後は、随時現地説明会を開催するとともに発掘調査報告書を刊行することにより、広く一般に公開している。

また、附属の考古館は、地域文化の発展・向上並びに調査研究活動の振興を図ることを目的として設置されたものであり、展示会、講演会、体験学習を開催するなど、市民一人ひとりの生涯学習を支援しながら、埋蔵文化財保護思想の普及啓発に努めている。平成25年度は下記の各種事業を実施した。

1. 展示活動　2. 教育普及活動　3. 収集・保管・育成活動　4. 出版活動
5. 資料の貸出・調査　6. 広報活動

一方、埋蔵文化財センターに隣接して設置されている文化財情報館は、松山市内で出土した文化財資料を整理・保管し、その活用を図るとともに市民に開かれた歴史学習の場としての充実を図り、埋蔵文化財センター及び考古館と一体となって埋蔵文化財保護施設として有機的な活用を図ることを目的としている。

1. 展示活動

常設展示室は、「海を媒介とした文化交流の中継地点としての伊予文化の独自性と、そこに生きた人々の姿」を解明し、「見る」「聞く」「触れる」「考える」を展示の基本コンセプトとした立体的な展示を心がけている。展示品は、松山平野で出土した考古資料約 500 点である。

常設展示室に隣接した特別展示室では、期間を限定し開催する展示会として(1)埋蔵文化財センター事業報告展「考古館・楽しかった 2012 展」、(2) 巡回展「続・発掘へんろ」、(3) 県市連携事業「掘ったぞな松山 2013」「いにしえのえひめ 2013」、(4) 特別展「出土文字から探る古代の松山」、(5) 地域展「味生の歴史」を開催した。その他では (6) 考古館のロビー等で展示会を 7 回開催し、(7) 特別展示室で実施している展示会（表１－２・３（①②）・５・９）を紹介する写真展を松山市役所で５回開催した。

(1) 埋蔵文化財センター事業報告展　「考古館・楽しかった 2012 展」（表１－１、写真 1）

この展示会は、平成 24 年度に実施した考古館開催の展示会と出前教室、古代体験教室等について紹介するもので、古代体験教室で製作した作品と、その製作の様子を写真パネルにして展示した。

(2) 第５回 四国地区埋蔵文化財センター巡回展

「続・発掘へんろ－四国の中世－」（表１－２、写真 2）

この展示会は、四国内の埋蔵文化財センター５団体が合同で開催する巡回展で、平成 21 年度から６ヶ年計画で実施しているもので、平成 25 年度は５年目にあたる。参加の５団体が発掘調査して出土した遺物を持ち寄り、今までに蓄積された情報を提供・交換することによって、観覧者の方々に埋蔵文化財の重要性を認識していただこうというものである。今年度は「四国の中世」をテーマに展示した。

(3) 愛媛県・松山市連携事業『古代いよ発掘まつり』（表１－３・写真３・４）

展示会・前期展「掘ったぞな松山 2013」　後期展「いにしえのえひめ 2013」

この展示会は、前年度（平成 24 年度）松山市内で発掘調査した遺跡やその出土品、作成した

報告書の成果をいち早く市民に紹介することを通じて、松山の古代史や埋蔵文化財への興味と関心を深める機会提供を目的に、愛媛県と松山市が連携して主催した。

展示会は、前期展と後期展の2回に分けて実施した。前期展では、11遺跡からの出土品等100点の展示会と、発掘担当調査員による発掘状況を詳しく説明する報告会を実施し、後期展では、7遺跡からの出土品等100点の展示会と報告会、さらには遺跡や出土品を詳しく知るために、専門研究者による講演会を実施した。

(4) **特別展「出土文字から探る古代の松山」**（表1－5、写真5）

この展示会は、考古館最大の事業であり、県内外の貴重な遺物を借用し、系統的に紹介するもので、当年度は「出土文字から探る古代の松山」をテーマにした。展示会は、飛鳥時代から奈良時代の遺跡から出土した木簡等の文字資料を取り上げ、松山と当時の都との関係や、税金・食膳等に関する資料を展示した。展示品は、松山から都へ税として送った米や鯖・鯛等の特産品に付けられた木簡、松山の地名や人名が書かれた木簡、庶民・貴族の食膳の復原品、国指定史跡の松山市久米高畑遺跡の刻書土器「久米評」等、県内外の考古資料等約130点で、展示品のうち、平城京の木簡1点は「伊予国風早郡中男作物旧鯖貳伯隻載籠」国指定重要文化財で、県内初の展示になった。会期中には、展示品を詳しく解説する展示解説会1回と講演会2回を実施した。

(5) **地域展「味生の歴史」**（表1－9、写真6）

この展示会は、松山の遺跡や古代史に興味と理解を深めて頂くために、公民館等の地域を対象範囲とした発掘出土品の展示やイベント等を行い、地域の活性化を支援するものである。当年度は、味生地域を対象として、古代の遺跡を身近に感じて頂くことを目的に開催した。展示会には味生を代表する11遺跡の出土品とその関連資料、あわせて120点を展示した。

展示会のほかに、講演会・ギャラリートークを実施した。

(6) **松山市考古館ロビー展**（表1－4・6・8、写真7）

この展示会は、考古館のロビーにて「発掘情報展」(5回)、「古代の蓮展」(1回)、新年企画展「干支と考古学」(1回）を開催した。

(7) **松山市考古館写真展**（表1－10、写真8）

この展示会は、考古館で開催する各展示会の案内を兼ねて、松山市役所1階ロビーにおいて展示会のポスターや展示品に関する写真パネル等を展示し、展示会への関心を高める機会を提供するものである。当年度は5回開催した。

2. 教育普及活動

教育普及活動としては、市民を対象に埋蔵文化財保護思想の啓発普及を目的とした講演会・体験学習・考古学講座などを開催し、職員の資質・技術向上を目的とした研修等も実施した。

(1) **講演会・展示解説会・考古学講座・演奏会**（表2－1～12、写真9～16）

展示会関係では、展示解説会、報告会、講演会、ギャラリートークをあわせて17回実施した。また、演奏会では、考古館ロビーにて箏コンサートを計12回開催し、好評を得た（延べ222人)。

(2) **わかりやすい考古学講座**（表2－13、写真13・14）

当年度は松山市制120周年記念・松山市埋蔵文化財センター・松山市考古館20周年記念事業

に伴い平成22年度に刊行した書籍『発掘　松山の遺跡』を基にして、時代ごとに市内の遺跡や出土品について、当埋蔵文化財センター職員と市教育委員会職員がスライドや実物で詳しく解説した。講座は6月以降、各月ごとに計10回実施し、延べ476人の参加を得た。

(3) 埋蔵文化財連続公開講座「松山古代史セミナー」（表2－14、写真15・16）

市内に所在する遺跡の周知並びに活用を図り、市民の地域の歴史に対する興味関心を高めるため、国指定史跡葉佐池古墳を中心に市内遺跡や埋蔵文化財の講座及び見学会を市民対象に平成25年度～26年度の2カ年計画で開催するもので、1年目となる25年度は歴史の流れと地域の特色を掴むために、その概要を学習する講座にした。講座は3回実施し、延べ222人の参加を得た。

(4) 古代体験教室（表3、写真17～24）

当教室は、「石勾玉を作ろう」、「ガラス勾玉を作ろう」、「銅銭作り」、「銅鏡作り」「石こうでミニ銅鐸･銅鏡･分銅形土製品作り」、「ふんどう君ペンダント作り」、「染物体験」「考古館で描こう」、「火おこし体験」を実施し、古代のもの作りを体験することで、古代人の苦労や知恵を学ぶことを目的としている。年間で120回実施し、4,583人の参加を得た。

なお、今年度は、8月8日の『まつやま子どもの日』に複数の体験ができる「古代体験まつり」を初めて実施し、延べ529人の参加を得た。

(5) 遺跡見学会（表4、写真25）

見学会は、展示会期中に歴史バスツアー4回、古代史セミナー・バスツアー1回、遺跡見学会1回の計6回実施し、延べ227人の参加を得た。

(6) 体験学習（団体来館）（表5、写真26）

当年度には84団体、3,612人が来館され、常設展示や収蔵庫、復元室等の施設見学を行うとともに、火おこし体験や古代衣装の着付け体験を通じて、より身近に感じながら歴史を学習した。

(7) 現地説明会（表6、写真27）

遺跡の見学を通して、市民が埋蔵文化財に対する興味や関心をより一層持ってもらうために開催するものである。当年度は、祝谷大地ヶ田遺跡（4次調査）など5ヶ所の遺跡において現地説明会を実施し、528人の参加者を得た。

(8) 職場体験（表7）

当センターでは、中学校・高等学校で教育の一環として実施されている「職場体験学習」や「インターンシップ」を受託している。当年度は中学校2校と高等学校1校から、計23人の生徒を受け入れ、埋蔵文化財の発掘調査や出土品整理の業務、さらに考古館の普及啓発業務等を体験した。

(9) 出前考古学教室（表8、写真28）

「総合的な学習の時間」、「選択教科社会科の授業」、「文化祭」等の利用では、各学校からの要請を受けて、小・中・高等学校や公民館に赴き、出前考古学教室を実施している。当年度は72回で4,361人が受講した。

(10) 職員研修・会議（表9）

文化庁主催のミュージアム・エデュケーター研修をはじめとして、日本博物館協会等の研修会や会議に参加するとともに、出土品等では専門研究者を招聘して指導・分析に伴い講義等の所内研修を実施し、職員の資質並びに技術の向上と業務の円滑な推進を図っている。

3. 収集・保管・育成活動

(1) 大連古代蓮（表１－６、写真 29）

平成 10 年 4 月に松山市農業指導センターから古代蓮の株を分けていただき、育成をしている。この古代蓮は、平成 8 年 1 月に中国大連市の観光訪問団が松山を訪れた際に、大連市観光局局長の張宏安氏から大連市で出土した千年前の蓮の種子を松山市に寄贈していただいたもので、農業指導センターが育成していたものである。当年度は 113 輪開花した。

(2) 古代米（表１－７、写真 30）

考古館の玄関前で赤米・黒米を育成をしている。

4. 出版活動（表 10・11）

当センターでは、考古館主催の展示会・講演会などを開催するに先立ち、多くの観覧者を募るために展示会 4 件分のポスター・チラシ及び解説書等 3 冊を発刊した。また、発掘調査の成果を公開する発掘調査報告書等を 8 冊刊行した。

5. 資料の貸出・調査（表 12・13、写真 31）

当センターでは、各博物館や教育委員会主催事業への出展や、研究者からの資料調査の要望などに応じ、貸出 35 件と調査 16 件に協力した。

6. 広報活動（表 14、写真 32）

当センターでは、展示活動や教育普及活動等の広報活動を通じて、施設の PR と利用推進の充実を図っている。当館のイメージキャラクター「ふんどう君」の出演依頼に応じて、10 件の協力を行った。

7. 考古館月別入館者数調（表 15）

表１　展示会一覧

No.	展示会名	会　期		会　場	観覧者数（人）
1	「考古館・楽しかった 2012 展」		平成 25 年 4 月 2 日（火）～ 4 月 21 日（日）	特別展示室 ロビー	861
2	第 5 回四国地区埋蔵文化財センター巡回展 「続・発掘へんろ－四国の中世－」		平成 25 年 4 月 27 日（土）～ 6 月 23 日（日）	特別展示室 ロビー	2,367
3	愛媛県・松山市連携事業 「古代いよ発掘まつり」	①　前期展	「掘ったぞな松山 2013」 平成 25 年 7 月 6 日（土）～ 9 月 1 日（日）	特別展示室 ロビー	2,285
		②　後期展	「いにしえのえひめ 2013」 平成 25 年 9 月 7 日（土）～ 10 月 14 日（月）		1,122
4	ロビー展『発掘情報展』	①	松山城二之丸跡 4 次調査（城の内 3 号墳） 平成 25 年 7 月 6 日（土）～ 9 月 1 日（日）	ロビー	1,850
		②	祝谷大地ヶ田遺跡 4 次調査 平成 25 年 7 月 9 日（火）～ 9 月 1 日（日）		1,733
		③	木製品の保存処理・今在家遺跡 3 次調査・桑原遺跡 6 次調査 平成 25 年 9 月 7 日（土）～ 10 月 14 日（月）		884
		④	文京遺跡 53・54 次調査 平成 26 年 2 月 1 日（土）～ 3 月 16 日（日）		2,144
		⑤	松山城三之丸跡 16 次調査 平成 26 年 3 月 21 日（金）～ 3 月 30 日（日）		258
5	特別展「出土文字から探る古代の松山」		平成 25 年 10 月 26 日（土）～ 11 月 24 日（日）	特別展示室 常設展示室一部	754
6	ロビー展「大連古代蓮の育成と展示会」	①　育　成：	平成 25 年 4 月 2 日（火）～平成 26 年 3 月 30 日（日）	考古館玄関前	―
		②　展示会：	平成 25 年 6 月 12 日（水）～平成 26 年 3 月 30 日（日）	ロビー	10,054
7	ロビー展「古代米の育成」		平成 25 年 5 月 23 日（木）～ 10 月 31 日（木）	考古館玄関前	―
8	ロビー展　新年企画展「干支と考古学」		平成 25 年 12 月 3 日（火）～平成 26 年 1 月 19 日（日）	特別展示室	664
9	地域展「味生の歴史」		平成 26 年 2 月 1 日（土）～ 3 月 16 日（日）	特別展示室 ロビー	2,336
10	松山市役所本庁ロビー写真展	①	平成 25 年 5 月 8 日（水）～ 5 月 17 日（金）	松山市役所本庁	―
		②	7 月 9 日（火）～ 7 月 19 日（金）		
		③	9 月 10 日（火）～ 9 月 20 日（金）		
		④	11 月 6 日（水）～ 11 月 15 日（金）		
		⑤	平成 26 年 2 月 4 日（火）～ 2 月 14 日（金）		
				合計	27,312

表２　教育普及活動一覧（考古学講座・講演会等）　（1）

No.	事業名	日時		会場	講師・報告者（敬称略）	聴講者数（人）	
1	第 5 回四国地区埋蔵文化財センター巡回展 「続・発掘へんろ－四国の中世－」 展示解説会	平成 25 年 4 月 27 日（土）		講堂	当センター主査　梅木謙一 愛媛県埋蔵文化財センター担当課長　中野良一		30
2	第 5 回四国地区埋蔵文化財センター巡回展 「続・発掘へんろ－四国の中世－」講演会	①	5 月 11 日（土）	講堂	愛媛県埋蔵文化財センター担当係長　柴田圭子	52	108
		②	6 月 1 日（土）		愛媛県埋蔵文化財センター調査員　藤本清志	56	
3	愛媛県・松山市連携事業『古代いよ発掘まつり』前期展「掘ったぞな松山 2013」 報告会	7 月 6 日（土）		講堂	当センター調査員　栗田茂敏 当センター主査　橋本雄一 愛媛県埋蔵文化財センター主任調査員　多田仁		54
4	愛媛県・松山市連携事業『古代いよ発掘まつり』前期展「掘ったぞな松山 2013」 親子考古学講座	①	7 月 26 日（金）	県埋文	愛媛県埋蔵文化財センター職員	16	28
		②	7 月 27 日（土）			12	
5	愛媛県・松山市連携事業『古代いよ発掘まつり』前期展「掘ったぞな松山 2013」 講演会	8 月 10 日（土）		講堂	愛媛県埋蔵文化財センター理事長　前園實知雄		96
6	愛媛県・松山市連携事業『古代いよ発掘まつり』後期展「いにしえのえひめ 2013」 報告会	9 月 21 日（土）		講堂	愛媛県埋蔵文化財センター資料係長　柴田昌児		55
7	愛媛県・松山市連携事業『古代いよ発掘まつり』後期展「いにしえのえひめ 2013」 講演会	10 月 5 日（土）		講堂	愛媛大学名誉教授　下條信行		47
8	特別展『出土文字から探る古代の松山』 講演会	①	10 月 27 日（日）	講堂	学習院大学文学部教授　鐘江宏之		52
		②	11 月 17 日（日）		独立行政法人奈良文化財研究所 都城発掘調査部史料研究室長　渡辺晃宏		66
9	特別展『出土文字から探る古代の松山』 展示解説会	11 月 2 日（土）		講堂	当センター主任学芸員　小玉亜紀子		20
10	地域展『味生の歴史』講演会	①	平成 26 年 2 月 1 日（土）	講堂	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所　名誉研究員　松井章	81	175
		②	3 月 8 日（土）		奈良県桜井市纒向学研究センター 主任研究員　橋本輝彦	94	
11	地域展『味生の歴史』ギャラリートーク	①	2 月 15 日（土）午前	特別 展示室	当センター主任学芸員　加島次郎	7	17
		②	2 月 15 日（土）午後			5	
		③	3 月 1 日（土）親子			5	
12	ロビー箏コンサート	①	平成 25 年 4 月 6 日（土）	エント ランス	丹生谷愛恵　（松山市立荏原小学校 5 年生）	17	
		②	5 月 11 日（土）		和田都希世　（松山市立たちばな小学校 4 年生）	16	
		③	6 月 1 日（土）		甲村姫菜　（松山市立たちばな小学校 6 年生）	23	
		④	7 月 6 日（土）		前田花恋　（砥部町立砥部中学校 3 年生）ほか	28	
		⑤	8 月 29 日（木）		俊野結衣　（松山市立たちばな小学校 6 年生）	20	

教育普及活動一覧（考古学講座・講演会等）　(2)

No.	事業名	日時	会場	講師・報告者（敬称略）	聴講者数（人）	
12	ロビー箏コンサート	⑥ 9月14日（土）	エントランス	丹生谷孝一郎（松山市立荏原小学校3年生）	13	222
		⑦ 10月26日（土）		内島雅千穂　（正派邦楽会　師範）	13	
		⑧ 11月2日（土）		松澤呼春　（砥部町立宮内小学校5年生）ほか	21	
		⑨ 12月8日（日）		小田口佳奈枝（松山市立城西中学校1年生）ほか	15	
		⑩ 平成26年1月18日（土）		丹生谷愛恵　（松山市立荏原小学校5年生）	15	
		⑪ 2月15日（土）		笹岡雅楽隆　（正派邦楽会　准師範）ほか	18	
		⑫ 3月1日（土）		内島雅千穂　（正派邦楽会　師範）	23	
13	わかりやすい考古学講座『発掘　松山の遺跡Ⅲ』	① 平成25年6月1日（土）	講堂	当センター主査　梅木謙一	58	476
		② 7月6日（土）		当センター主任学芸員　加島次郎	57	
		③ 8月3日（土）	発掘現場	当センター主任調査員　水本完児	44	
		④ 9月7日（土）	講堂	当センター主任調査員　宮内慎一	50	
		⑤ 10月5日（土）		当センター主任調査員　相原浩二	44	
				当センター主任調査員　吉岡和哉		
		⑥ 11月2日（土）		松山市教育委員会主事　岸見泰宏	47	
		⑦ 12月7日（土）		当センター主任調査員　山本健一	45	
		⑧ 平成26年1月11日（土）		当センター主任学芸員　小玉亜紀子	44	
		⑨ 2月1日（土）		松山市教育委員会主事　西村直人	40	
		⑩ 3月1日（土）		松山市教育委員会主事　武田尊子	47	
14	埋蔵文化財連続公開講座『松山古代史セミナー』	① 平成25年12月14日（土）	県歴博	愛媛県歴史文化博物館　専門学芸員　兵頭勲	45	222
		② 平成26年1月18日（土）	講堂	愛媛大学名誉教授　下條信行	82	
		③ 2月16日（日）	小野公民館	奈良芸術短期大学教授　前園實知雄	95	
				合計42回	1,668	

表3　教育普及活動一覧（古代体験教室）　(1)

No.	事業名		日　時		会場・団体名	参加者数（人）	
1	石勾玉を作ろう	来館	① 平成25年5月25日（土）	10：00～11：30	考古館　講堂	36	444
			②	14：00～15：30		30	
			③ 8月6日（火）	9：30～12：00	（公財）松山国際交流協会（韓国・松山の中学生）	26	
			④ 8月8日（木）	10：00～16：00	考古館　講堂	106	
			⑤ 8月28日（水）	10：00～11：30		29	
			⑥	13：30～15：00		13	
			⑦ 9月14日（土）	10：00～12：00	北条ふるさと館	9	
			⑧ 10月12日（土）	10：00～11：30	考古館　講堂	2	
			⑨	13：30～15：00		6	
			⑩ 10月18日（金）	9：30～13：00	久万高原町立久万小学校	38	
			⑪ 10月24日（木）	10：00～13：00	私立松山東雲中学校	12	
			⑫ 10月25日（金）	9：30～15：00	私立新田青雲中等教育学校	85	
			⑬ 10月26日（土）	10：00～13：00	味酒児童クラブ	52	
		出前	① 4月16日（火）	9：00～15：00	松山市立味生小学校	123	444
			② 5月28日（火）	15：10～15：55	松山市立立岩小学校	15	
			③ 6月20日（木）	15：00～15：45	松山市立堀江小学校	18	
			④ 7月4日（木）	15：05～15：50	松山市立みどり小学校	29	
			⑤ 7月23日（火）	15：00～16：30	東雲公民館	45	
			⑥ 6月21日（金）	13：30～15：00	たちばな児童クラブ	22	
			⑦ 9月17日（火）	9：00～12：00	松山市立石井東小学校PTA	70	
			⑧ 11月1日（金）	9：20～12：20	松山市立東中学校	22	
			⑨ 11月2日（土）	12：25～15：20	松山市立椿中学校	28	
			⑩ 11月3日（日）	8：30～11：00	松山市立久谷中学校	20	
			⑪ 11月7日（木）	13：00～15：00	松山市立津田中学校	28	
			⑫ 平成26年3月9日（日）	10：00～14：00	中島総合文化センター	24	
		再生琥珀(来館)	1月17日（金）	10：00～11：30	考古館　講堂	19	19
		大型品（来館）	1月17日（金）	13：30～15：00	考古館　講堂	5	5
2	ガラス勾玉を作ろう	来館	① 2月21日（金）	10：00～14：30	考古館　講堂	10	22
			② 2月22日（土）	10：00～14：30		12	
3	古代の技術を学ぼう～合金編～	「銅銭作り」（来館）	① 平成25年7月12日（金）	10：00～12：00	考古館講堂（味生公民館）	19	164
			② 8月8日（木）	10：00～16：00	考古館　講堂	109	
			③ 8月29日（木）	10：00～11：30	考古館　講堂	7	
			④	13：30～15：00		7	
			⑤ 10月24日（木）	10：00～13：00	私立松山東雲中学校	18	
			⑥ 平成26年3月20日（木）	9：00～10：30	松山市立津田中学校	4	
		「銅銭作り」（出前）	① 平成25年8月21日（水）	13：30～15：00	たちばな児童クラブ	15	181
			② 8月23日（金）	9：30～11：00	素鵞小わくわくスクール	40	

教育普及活動一覧（古代体験教室）　(2)

No.	事業名		日　時		会場・団体名	参加者数（人）	
3	古代の技術を学ぼう ～合金編～	「銅銭作り」（出前）	③　11月 2 日（土）	12：25～15：20	松山市立椿中学校	28	
			④　平成26年 1 月23日（木）	15：05～15：50	松山市立みどり小学校	30	
			⑤　1 月30日（木）	15：00～15：45	松山市立堀江小学校	17	
			⑥　2 月23日（日）	12：30～15：00	愛媛県生涯学習センター	50	
			⑦　3 月 9 日（日）	10：00～14：00	中島総合文化センター	1	
		「銅鏡作り」（来館）	①　平成25年11月20日（水）	10：00～12：00	考古館　講堂	12	16
			②　平成26年 2 月 8 日（土）			4	
4	古代の技術を学ぼう ～石こう編～	「石こうでミニ銅鐸・銅鏡・分銅形土製品作り」（来館）	平成25年 8 月 8 日（木）	10：00～16：00	考古館　講堂	42	42
		「石こうでミニ銅鐸作り」（出前）	10月31日（木）	15：05～15：50	松山市立みどり小学校	30	30
5	ふんどう君ペンダント作り	来館	①　4 月27日（土）	9：00～17：00	考古館エントランス・講堂	8	98
			②　4 月28日（日）			9	
			③　4 月29日（月）			6	
			④　5 月 1 日（水）			2	
			⑤　5 月 2 日（木）			2	
			⑥　5 月 3 日（金）			13	
			⑦　5 月 4 日（土）			3	
			⑧　5 月 5 日（日）			9	
			⑨　5 月 6 日（月）			11	
			⑩　8 月 6 日（火）			0	
			⑪　8 月 7 日（水）			6	
			⑫　8 月 8 日（木）			27	
			⑬　8 月 9 日（金）			1	
			⑭　8 月10日（土）			0	
			⑮　8 月11日（日）			1	
		出前	①　8 月22日（木）	10：00～11：00	東雲児童クラブ	28	95
			②　11月16日（土）	10：00～12：00	こども館・考古館連携事業	50	
			③　平成26年 2 月20日（木）	15：00～15：45	松山市立堀江小学校	17	
5	ふんどう君ペンダント作り	磁石付（来館）	①　平成25年 8 月 6 日（火）	9：00～17：00	考古館エントランス	2	3
			②　8 月 7 日（水）			0	
			③　8 月 8 日（木）			0	
			④　8 月 9 日（金）			0	
			⑤　8 月10日（土）			1	
			⑥　8 月11日（日）			0	
6	染物体験	茜（来館）	①　7 月30日（火）	10：00～12：00	考古館　講堂	17	30
			②　平成26年 1 月22日（水）			13	
		藍（来館）	①　平成25年 7 月31日（水）	10：00～12：00	考古館　講堂	20	33
			②　平成26年 1 月24日（金）			13	
7	考古館で描こう	来館	平成25年 8 月 8 日（木）	10：00～16：00	情報館	13	13
8	火おこし体験	来館・個人	①　平成25年 4 月（10件）		考古館　屋外	37	188
			②　5 月（9件）			26	
			③　6 月（1件）			2	
			④　7 月			0	
			⑤　8 月（3件）			100	
			⑥　9 月			0	
			⑦　10月			0	
			⑧　11月（2件）			5	
			⑨　12月			0	
			⑩　平成26年 1 月			0	
			⑪　2 月（2件）			6	
			⑫　3 月（3件）			12	
		来館・団体	①　平成25年 4 月10日（水）	9：00～11：30	松山市立たちばな小学校	100	
			②　4 月12日（金）	9：00～11：30	松山市立味生第二小学校	119	
			③　4 月16日（火）	9：00～15：00	松山市立味生小学校	133	
			④　4 月18日（木）	10：00～11：30	松前町立岡田中学校	110	
			⑤　4 月26日（金）	9：00～11：00	私立済美平成中等教育学校	133	
			⑥　5 月 1 日（水）	9：15～11：20	松山市立宮前小学校	86	
			⑦　5 月 9 日（木）	9：00～11：00	松山市立三津浜小学校	47	
			⑧　5 月10日（金）	10：00～14：00	松山市立和気小学校	116	
			⑨　5 月16日（木）	9：30～11：30	松山市立味酒小学校	195	
			⑩　5 月29日（水）	9：30～13：40	松山市立生石小学校	170	
			⑪　6 月13日（木）	14：50～16：20	愛媛大学 留学生	28	
			⑫　7 月20日（土）	13：30～15：00	私立愛光学園（台湾留学生）	31	
			⑬　8 月 6 日（火）	9：30～12：00	（公財）松山国際交流協会	30	
			⑭　10月25日（金）	9：30～15：00	私立新田青雲中等教育学校	91	
			⑮　10月31日（木）	10：00～11：30	今治市立亀岡小学校	16	

教育普及活動一覧（古代体験教室）　(3)

No.	事業名		日　時			会場・団体名	参加者数（人）	
8	火おこし体験	来館・団体	⑯	11月13日（水）	13：00～15：00	愛媛大学（ドイツ留学生）	28	2,294
			⑰	平成26年 1月22日（水）	13：00～16：00	愛媛大学（韓国留学生）	18	
			⑱	2月 1日（土）	10：00～12：00	愛媛大学博物館講座	15	
			⑲	2月 8日（土）	13：30～15：30	都市環境学習センター	28	
			⑳	2月20日（木）	10：00～12：00	東温市立北吉井小学校	85	
			㉑	3月 4日（火）	10：00～11：30	松山市立椿小学校	161	
			㉒	3月 4日（火）	12：00～14：00	伊予市立中山小学校	41	
			㉓	3月 5日（水）	9：00～11：30	松山市立双葉小学校	100	
			㉔	3月 6日（木）	9：10～12：00	松山市立さくら小学校	140	
			㉕	3月 6日（木）	12：30～14：30	松山市立湯築小学校	91	
			㉖	3月 7日（金）	12：00～13：20	東温市立川上小学校	85	
			㉗	3月14日（金）	9：30～11：30	松山市立素鷲小学校	97	
		出前・団体	①	平成25年 4月11日（木）	9：30～12：00	松山市立雄郡小学校	90	462
			②	4月18日（木）	10：25～14：35	松山市立堀江小学校	114	
			③	5月 8日（水）	13：45～14：55	松山市立正岡小学校	19	
			④	5月 9日（木）	13：55～15：35	松山市立福音小学校	192	
			⑤	5月23日（木）	15：05～15：50	松山市立みどり小学校	29	
			⑥	11月28日（木）	15：10～15：55	松山市立堀江小学校	18	
						合計120回		4,583

表４　教育普及活動一覧（遺跡見学会）

No.	事業名	日　時		内容（見学地）	参加者数（人）
1	掘ったぞな松山2013「歴史バスツアー」①親子	平成25年 8月 2日(金)	9:00～17:00	・考古館・北条ふるさと館・朝倉ふるさと美術古墳館 ・朝倉下経田遺跡	38
2	わかりやすい考古学講座③ 「発掘　松山の遺跡Ⅲ」	8月 3日(土)	10:00～11:30	・遺跡見学会「文京遺跡53次調査」	44
3	いにしえのえひめ2013「歴史バスツアー」②一般	9月14日(土)	8:30～15:15	・考古館・国史跡葉佐池古墳・愛媛大学ミュージアム	33
4	いにしえのえひめ2013「歴史バスツアー」③一般	9月28日(土)	8:30～16:40	・考古館・四国中央市考古資料館・国史跡宇摩向山古墳	31
5	いにしえのえひめ2013「歴史バスツアー」④一般	10月13日(日)	9:00～17:00	・考古館・愛媛県歴史文化博物館・国史跡河後森城跡	36
6	埋蔵文化財連続講座① 『古代史セミナー』バスツアー	12月14日(土)	9:00～17:00	・考古館・愛媛県歴史文化博物館	45
				合計	227

表５　教育普及活動一覧（体験学習・団体来館）　(1)

No.	学校名・団体名	学　年	日　時	内　容	参加者数（人）	
1	松山市立たちばな小学校	6年	平成25年 4月10日（水）	館内案内・火おこし	100	605
2	松山市立味生第二小学校	6年	4月12日（金）	館内案内・火おこし	119	
3	愛媛新聞カルチャースクール	—	4月13日（土）	館内案内・講義	10	
4	松山市立味生小学校	6年	4月16日（火）	館内案内・客谷古墳群見学・火おこし・石勾玉作り	133	
5	松前町立岡田中学校	1年	4月18日（木）	館内案内・火おこし	110	
6	私立済美平成中等教育学校（高校生）	1年	4月26日（金）	館内案内・火おこし	133	
7	松山市立宮前小学校	6年	5月 1日（水）	館内案内・火おこし	86	757
8	松山市立三津浜小学校	6年	5月 9日（木）	館内案内・火おこし	47	
9	松山市立和気小学校	6年	5月10日（金）	館内案内・火おこし・客谷古墳群見学	116	
10	愛媛新聞カルチャースクール	—	5月11日（土）	館内案内・講義	10	
11	松山市立味酒小学校	6年	5月16日（木）	館内案内・火おこし	195	
12	桜句会	—	5月16日（木）	館内案内	8	
13	文化財めぐり「1人でもできる文化財めぐり」	—	5月19日（日）	館内案内	35	
14	文化財めぐり「高齢クラブ越智鶴寿会」	—	5月21日（火）	館内案内	38	
15	俳句結社「花信の会」	—	5月26日（日）	館内案内	52	
16	松山市立生石小学校	6年	5月29日（水）	館内案内・火おこし・客谷古墳群見学	170	
17	松山市公民館連絡協議会	—	6月 5日（水）	館内案内	44	133
18	愛媛新聞カルチャースクール	—	6月 8日（土）	館内案内・講義	7	
19	愛媛大学留学生	—	6月13日（木）	館内案内・火おこし	28	
20	松山そぞろ歩きの会	—	6月15日（土）	館内案内	20	
21	デイサービスアテーナ	—	6月15日（土）	館内案内	15	
22	八幡浜市日土史談会	—	6月16日（日）	館内案内	9	
23	済生会姫原	—	6月23日（日）	館内案内	10	
24	松山市味生公民館	—	7月12日（金）	館内案内・合金で銅銭作り	19	
25	愛媛新聞カルチャースクール	—	7月13日（土）	館内案内・講義	10	
26	私立愛光学園(台湾・道明中学高等学校含む)	—	7月20日（土）	館内案内・火おこし	31	
27	松山市立小学校社会科主任会	—	7月23日（火）	館内案内	57	
28	松山市学校事務主任会	—	7月24日（水）	館内案内	80	

教育普及活動一覧（体験学習・団体来館）　(2)

No.	学校名・団体名	学　年	日　時	内　容	参加者数（人）	
29	ケアジャパン	—	7 月 25 日（木）	館内案内	25	239
30	四国朝鮮初中級学校	—	7 月 30 日（火）	館内案内	17	
31	全国史跡整備市町村協議会四国地区協議会	—	8 月 1 日（木）	館内案内	30	74
32	（公財）松山国際交流協会（韓国・日本の中学生）	—	8 月 6 日（火）	館内案内・石勾玉作り・火おこし	30	
33	松前町立岡田中学校	2 年	8 月 7 日（水）	職場体験	6	
34	松前町立岡田中学校	2 年	8 月 8 日（木）	職場体験	6	
35	中央大学	—	8 月 24 日（土）	館内案内	2	
36	海洋考古学会	—	9 月 7 日（土）	館内案内	33	152
37	海洋考古学会	—	9 月 8 日（日）	館内案内	27	
38	デイサービス星岡	—	9 月 10 日（火）	館内案内	43	
39	（公財）愛媛県埋蔵文化財センター	—	9 月 12 日（木）	館内案内	3	
40	北条ふるさと館	—	9 月 14 日（土）	館内案内・石勾玉作り	10	
41	石手内科	—	9 月 14 日（土）	館内案内	13	
42	宇和史談会	—	9 月 21 日（土）	講義	13	
43	はにわの里協会	—	9 月 29 日（日）	館内案内	10	
44	伊台清風苑	—	10 月 3 日（木）	館内案内	8	350
45	道後ベテルホームディケア	—	10 月 8 日（火）	館内案内	20	
46	大洲歴史文化教室	—	10 月 12 日（土）	館内案内	30	
47	久万高原町立久万小学校	4 年	10 月 18 日（金）	館内案内・石勾玉作り	40	
48	文化財めぐり（小栗自治会）	—	10 月 22 日（火）	館内案内	34	
49	私立松山東雲中学校	2 年	10 月 24 日（木）	館内案内・石勾玉作り・銅銭作り	30	
50	私立新田青雲中等教育学校	1 年	10 月 25 日（金）	館内案内・火おこし・古代衣装・石勾玉作り	91	
51	味酒児童クラブ	—	10 月 26 日（土）	館内案内・石勾玉作り	61	
52	松山市立味酒小学校	5 年	10 月 29 日（火）	館内案内	20	
53	今治市立亀岡小学校	6 年	10 月 31 日（木）	館内案内・講義・火おこし	16	
54	愛媛大学留学生 (ドイツ)	—	11 月 13 日（水）	館内案内・火おこし	28	106
55	松山市立雄新中学校	2 年	11 月 19 日（火）	職場体験	3	
56	松山市立津田中学校	1 年	11 月 20 日（水）	講義・館内案内	28	
57	愛媛県立松山北高校	1 年	11 月 21 日（木）	職場体験	8	
58	文化財めぐり（北条赤十字奉仕団）	—	11 月 26 日（火）	館内案内	39	
59	愛媛県社会福祉協議会	—	12 月 4 日（水）	館内案内	17	24
60	愛媛新聞カルチャースクール	—	12 月 14 日（土）	館内案内・講義	7	
61	愛媛大学（韓国留学生）	—	平成 26 年 1 月 22 日（水）	館内案内・火おこし	18	18
62	愛媛大学博物館講座	—	2 月 1 日（土）	館内案内・火おこし	15	248
63	愛媛新聞カルチャースクール	—	2 月 8 日（土）	館内案内・講義	6	
64	都市環境学習センター	—	2 月 8 日（土）	館内案内・火おこし	28	
65	松山市養護教職員主任会	—	2 月 14 日（金）	館内案内	59	
66	東温市立北吉井小学校	5 年	2 月 20 日（木）	館内案内・火おこし	85	
67	國學院大學文学部	—	2 月 20 日（木）	館内案内	39	
68	安城寺若駒高齢者クラブ	—	2 月 23 日（日）	館内案内	16	
69	松山市立椿小学校	6 年	3 月 4 日（火）	館内案内・火おこし	161	906
70	伊予市立中山小学校	5・6 年	3 月 4 日（火）	館内案内・火おこし	41	
71	松山市立双葉小学校	5 年	3 月 5 日（水）	館内案内・火おこし	100	
72	松山市立さくら小学校	5 年	3 月 6 日（木）	館内案内・火おこし	140	
73	松山市立湯築小学校	6 年	3 月 6 日（木）	館内案内・火おこし	91	
74	東温市立西谷小学校	1 ～ 6 年	3 月 6 日（木）	館内案内	76	
75	東温市立川上小学校	5 年	3 月 7 日（金）	館内案内・火おこし	85	
76	愛媛新聞カルチャースクール	—	3 月 8 日（土）	館内案内	9	
77	ひめ句会	—	3 月 9 日（日）	館内案内	10	
78	味生公民館	—	3 月 11 日（火）	館内案内	14	
79	西予市立野村町河成小	2 ～ 6 年	3 月 13 日（木）	館内案内・古代衣装	27	
80	松山市立素鷲小学校	5 年	3 月 14 日（金）	館内案内・火おこし	97	
81	松山視覚障害者の会（歩こう会）	—	3 月 16 日（日）	館内案内	27	
82	松山市立津田中学校（特別支援学級）	1 ～ 3 年	3 月 20 日（木）	銅銭作り・館内案内	7	
83	さくら句会	—	3 月 25 日（火）	館内案内	6	
84	西側町内会	—	3 月 30 日（日）	館内案内	15	
				合計　84　件		3,612

表 6　教育普及活動一覧（現地説明会）

No.	遺跡名	日時		遺跡の主な概要	見学者数（人）
1	祝谷大地ヶ田遺跡 4 次調査	平成 25 年 7 月 7 日（日）	10:30 ～ 11:30	弥生時代～古墳時代（貯蔵穴・横穴式石室）	180
2	文京遺跡 53・54 次調査	11 月 30 日（土）	10:30 ～ 12:00	53 次：鎌倉時代～室町時代（溝・自然流路） 54 次：弥生時代～室町時代（溝・土坑・自然流路）	80
3	久米窪田古屋敷遺跡 2 次調査	12 月 27 日（金）	11:30 ～ 12:00	古墳時代（溝・土坑）	10
4	松山城三之丸跡 16 次調査	平成 26 年 1 月 26 日（日）	10:30 ～ 11:30	江戸時代（三之丸御殿・東西 / 南北方向道路）	138
5	東野森ノ木遺跡 5 次調査	3 月 15 日（土）	10:30 ～ 11:30	縄文時代～室町時代（土坑･竪穴建物･掘立柱建物ほか）	120
				合計	528

表７　教育普及活動一覧（職場体験）

No.	学校名	学年	日時		内容	参加者数（人）
1	松前町立岡田中学校	2年	8月7日（水）	9:00～17:00	職場体験	6
			8月8日（木）	9:00～17:00	職場体験	6
2	松山市立雄新中学校	2年	11月19日（火）	9:00～16:00	職場体験	3
3	愛媛県立松山北高校	1年	11月21日（木）	14:00～15:30	職場体験	8
					合計　3校4件	23

表８　教育普及活動一覧（出前考古学教室）　（1）

No.	学校名・団体名	学　年	日　時	内　容	参加者数（人）	
1	松山市立雄郡小学校	6年	①　平成25年4月11日（木）	講義・火おこし	90	102
			②　10月25日（金）	講義	12	
2	松山市立みどり小学校	3年	5月28日（火）	講義・校区の遺跡	40	515
		4～6年	①　4月18日（木）	講義	29	
			②　5月16日（木）	古代衣装	29	
			③　5月23日（木）	火おこし	29	
			④　6月13日（木）	塩作り体験	29	
			⑤　7月4日（木）	石勾玉作り	29	
			⑥　9月26日（木）	石庖丁作り①	30	
			⑦　10月17日（木）	石庖丁作り②	30	
			⑧　10月24日（木）	石庖丁で穂摘みにチャレンジ	30	
			⑨　10月31日（木）	銅鐸にチャレンジ	30	
			⑩　11月14日（木）	分銅形土製品	30	
			⑪　11月21日（木）	かっぱ山見学	30	
			⑫　11月28日（木）	須恵器にチャレンジ	30	
			⑬　12月12日（木）	銅鏡パズル	30	
			⑭　平成26年1月23日（木）	銅銭作り（合金）	30	
			⑮　1月30日（木）	土器パズルにチャレンジ	30	
			⑯　2月27日（木）	ふり返り学習	30	
3	松山市立福音小学校	6年	平成25年5月9日（木）	講義・火おこし	192	192
4	松山市立堀江小学校	6年	4月18日（木）	講義・火おこし	114	327
		4～6年	①　4月25日（木）	講義	17	
			②　5月16日（木）	土器パズルにチャレンジ	18	
			③　6月13日（木）	古代衣装	18	
			④　6月20日（木）	石勾玉・管玉作り	18	
			⑤　9月26日（木）	石庖丁作り①	18	
			⑥　10月10日（木）	石庖丁作り②	18	
			⑦　10月17日（木）	穂摘み・脱穀	18	
			⑧　11月28日（木）	火おこし・脱穀	18	
			⑨　平成26年1月16日（木）	おにぎり作り・講義（木簡）	18	
			⑩　1月30日（木）	銅銭作り（合金）	17	
			⑪　2月20日（木）	ふんどう君ペンダント作り	17	
			⑫　3月6日（木）	まとめ	18	
5	松山市立正岡小学校	6年	平成25年5月8日（水）	講義・火おこし	19	19
6	松山市立味酒小学校	6年	①　5月2日（木）	講義	198	1,388
			②　5月31日（金）	土器作り	188	
			③　6月5日（水）	講義	168	
			④　6月21日（金）	学習相談	168	
			⑤　6月26日（水）	古代人体験	168	
			⑥　7月8日（月）	土器土練り	168	
			⑦　7月9日（火）	土器焼き	168	
		5年	①　11月8日（金）	講義	20	
			②　11月29日（金）	総合的な学習（発表）	142	
7	松山市立立岩小学校	4～6年	①　5月21日（火）	石勾玉作り	15	30
			②　5月28日（火）	石勾玉作り	15	
8	愛媛県立北条高校	2年	5月30日（木）	講義	20	20
9	松山市立小野中学校	2年	6月18日（火）	校区の遺跡と葉佐池古墳紹介	148	148
10	松山市立生石小学校	6年	①　5月23日（木）	講義・古代衣装・土器	164	690
			②　6月11日（火）	学習相談	164	
			③　6月13日（木）	学習相談	164	
			④　6月20日（木）	古代人体験	164	
			⑤　7月17日（水）	総合的な学習（振り返り学習）	34	
11	小野公民館	—	①　5月26日（日）	地区の文化財めぐり	46	71
			②　9月12日（木）	講義・古代体験	25	
12	カルスポカレッジ（コミセン）	—	①　6月19日（水）	講義	124	211
			②　12月26日（木）	講義	87	
13	東雲公民館	—	7月23日（火）	石勾玉作り	45	45
14	たちばな児童クラブ	—	8月21日（水）	石勾玉作り・銅銭作り（合金）	40	40

教育普及活動一覧（出前考古学教室）　(2)

No.	学校名・団体名	学　年	日　時	内　容	参加者数（人）	
15	東雲児童クラブ	—	8 月 22 日（木）	ふんどう君ペンダント作り	33	33
16	素鵞小わくわくスクール	—	8 月 23 日（金）	銅銭作り（合金）	51	51
17	松山市立石井東小学校 PTA	—	9 月 17 日（火）	石勾玉作り・石井東小出土品展示	70	70
18	松山市立東中学校	—	11 月 1 日（金）	石勾玉作り〔文化祭〕	22	22
19	松山市立椿中学校	—	11 月 2 日（土）	石勾玉作り・銅銭作り（合金）〔文化祭〕	28	28
20	松山市立久谷中学校	—	11 月 3 日（日）	石勾玉作り・古代衣装〔文化祭〕	20	20
21	松山市立津田中学校	—	11 月 7 日（木）	石勾玉作り	28	28
22	こども館・考古館連携事業	—	11 月 16 日（土）	ふんどう君ペンダント作り	50	50
23	葉佐池くらぶ（小野公民館）	—	12 月 1 日（日）	講義	12	12
24	北条ふるさと館	—	平成 26 年 1 月 21 日（火）	ふるさと風早講座	55	55
25	愛媛県生涯学習センター	—	①　2 月 13 日（木）	ふるさと再発見コース：愛媛の博物館講座	24	74
			②　2 月 23 日（日）	銅銭作り（合金）・土器パズル・ふんどう君ぬり絵	50	
26	松山古代史セミナー③（小野公民館）	—	2 月 16 日（日）	講演	95	95
27	中島総合文化センター	—	3 月 9 日（日）	石勾玉作り・銅銭作り（合金）〔文化祭〕	25	25
				合計 27 団体 72 件	4,361	

表 9　教育普及活動一覧（職員研修・会議）

No.	研修・会議名	日時	開催地	参加者数（人）
1	第 1 回全国埋蔵文化財法人連絡協議会役員会	平成 25 年 5 月 16・17 日（木・金）	岩手県	1
2	第 34 回埋蔵文化財法人連絡協議会総会	6 月 20・21 日（木・金）	滋賀県	1
3	ミュージアム・エデュケーター研修会（前期）	9 月 4・5・6 日（水・木・金）	東京都	1
4	第 1 回埋蔵文化財担当職員等講習会	9 月 10･11･12 日（火・水・木）	岐阜県	1
5	東日本大震災に伴う埋蔵文化財発掘調査に関する 平成 25 年度下半期職員派遣説明会	9 月 13 日（金）	東京都	1
6	四国地区博物館協議会・日本博物館四国支部の総会	10 月 1・2 日（火・水）	愛媛県	3
7	全国埋蔵文化財法人連絡協議会 中国・四国・九州ブロック会議	10 月 3・4 日（木・金）	徳島県	2
8	第 2 回全国埋蔵文化財法人連絡協議会役員会	12 月 5・6 日（木・金）	東京都	1
9	ミュージアム・エデュケーター研修会（後期）	平成 26 年 2 月 6・7 日（木・金）	東京都	1

表 10　考古館印刷物一覧（ポスター・チラシ）

No.	出版物名	発行日	対象	版型・頁	部数（枚）
1	四国地区埋蔵文化財センター巡回展『続・発掘へんろ―四国の中世―』 ポスター チラシ	平成 25 年 4 月	一般	B2　1 頁 A4　2 頁	500 50,000
2	愛媛県・松山市連携事業『古代いよ発掘まつり』前期展 「掘ったぞな松山 2013」 ポスター	平成 25 年 6 月	一般	B2　1 頁	600
3	『大連古代蓮のご案内』 チラシ	平成 25 年 6 月	一般	A4　2 頁	10,000
4	特別展『出土文字から探る古代の松山』 ポスター チラシ	平成 25 年 10 月	一般	B2　1 頁 A4　2 頁	550 50,000
5	埋蔵文化財連続公開講座「松山古代史セミナー」 チラシ	平成 25 年 11 月	一般	A4　1 頁	10,000
6	地域展『味生の歴史』 ポスター チラシ	平成 25 年 12 月	一般	B2　1 頁 A4　2 頁	500 50,000

表 11　出版物一覧

No.	報告書名・出版物名	発行日	対象	版型・頁	冊数
1	愛媛県・松山市連携事業『古代いよ発掘まつり』前期展 「掘ったぞな松山 2013」解説書パンフレット	平成 25 年 7 月 2 日	一般	A4　4 頁	2,000
2	特別展「出土文字から探る古代の松山」展示解説書	10 月 22 日	一般	A4　16 頁	700
3	松山市埋蔵文化財調査年報 25（平成 24 年度）	10 月 31 日	一般	A4　64 頁	300
4	地域展『味生の歴史』解説書パンフレット	平成 26 年 2 月 1 日	一般	A4　4 頁	2,000
5	松山市文化財調査報告書 第 168 集『三味線山古墳・船ヶ谷向山古墳』	3 月 31 日	一般	A4　138 頁	300
6	松山市文化財調査報告書 第 169 集『道後城北遺跡群Ⅲ』	2 月 28 日	一般	A4　102 頁	300
7	松山市文化財調査報告書 第 170 集『中村松田遺跡 4 次調査』	3 月 7 日	一般	A4　72 頁	300
8	松山市文化財調査報告書 第 171 集『来住廃寺 9 次・13 次調査』	3 月 7 日	一般	A4　68 頁	300
9	松山市文化財調査報告書 第 172 集『小坂七ノ坪遺跡 3 次・4 次調査』	3 月 7 日	一般	A4　98 頁	300
10	松山市文化財調査報告書 第 173 集『松山市内遺跡詳細分布調査』	3 月 14 日	一般	A4　206 頁	300
11	松山市文化財調査報告書 第 174 集『釜ノ口遺跡Ⅲ―9 次･10 次･11 次―』	3 月 14 日	一般	A4　152 頁	300

表 12　資料の貸出一覧

NO.	種類	貸出資料名	点数	貸出・利用目的	貸出・利用期間	貸出先
1	資料	分銅形土製品ほか	25 点	常設展示室において展示するため	平成 22 年 4 月 1 日 ～平成 27 年 3 月 31 日	松山市立子規記念博物館
2	資料	福音小学校構内遺跡出土器台	2 点	妙見山古墳出土の伊予型特殊器台との比較展示のため	平成 23 年 6 月 21 日 ～平成 26 年 7 月 5 日	今治市教育委員会
3	資料	松山城二之丸跡出土の金貨	1 点	展示をするため	平成 25 年 2 月 1 日 ～平成 30 年 3 月 31 日	坂の上の雲ミュージアム
4	資料	天山 1 号墳出土の鏡（復原品）	1 点	授業で使用するため	平成 25 年 4 月 19 日 ～ 5 月 9 日	松山市立福音小学校
5	資料 その他	縄文土器 古代服（毛皮）	1 点 1 点	授業で使用するため	4 月 20 日 ～ 4 月 21 日	松山市立雄郡小学校
6	写真	松山城二之丸跡出土の金貨	1 点	雑誌「松山百点」お城下トリビア <5> 松山城周辺の井戸の記事に掲載するため	4 月 27 日	松山百点会事務局
7	その他	火おこし道具	10 点	歴史体験教室で使用	5 月 18 日 ～ 5 月 19 日	北条ふるさと館
8	資料	縄文土器ほか	7 点	中学校の社会 (歴史) の授業で使用	6 月 4 日 ～ 6 月 6 日	愛媛県立松山盲学校
9	写真	斎院・茶臼山古墳の石室ほか	45 点	「味生公民館創立 60 周年記念誌」に掲載するため	6 月 25 日 ～ 6 月 26 日	味生公民館
10	資料	若草町・樽味高木・福音小・久米高畑・松山大学構内・天山出土壺	21 点	平成 25 年度愛媛県生涯学習センター共同企画展「えひめ弥生時代の絵画」に展示	6 月 4 日 ～ 8 月 2 日	（公財） 愛媛県県埋蔵文化財センター
11	写真	合金のレプリカ磨き写真ほか	2 点	リビングまつやま紙面（7/11 号）での掲載	7 月 11 日 ～ 7 月 18 日	えひめリビング新聞社
12	写真	地図でみる分銅形土製品の顔	1 点	平成 25 年度企画展「弥生の祈り～今治平野の分銅形土製品～」の展示用パネル	8 月 3 日 ～ 10 月 31 日	今治市教育委員会
13	資料	竹本資料の石鏃ほか	25 点	調査研究のため	9 月 25 日 ～ 9 月 29 日	個人
14	写真 資料	釜ノ口遺跡８次出土のガラス玉ほか 釜ノ口遺跡８次出土のガラス玉ほか	39 点 1071 点	開館 15 周年記念特別企画展「装身具の世界～玉文化に魅せられて～」	9 月 2 日 ～ 10 月 31 日 10 月 4 日 ～ 12 月 3 日	徳島市立考古資料館
15	写真 資料	史跡久米官衙遺跡回廊状遺構ほか 史跡久米官衙遺跡出土遺物	3 点 10 点	第 4 回古代山城サミット高松大会開催記念企画展「屋嶋城が築かれた時代」に展示するほか	7 月 1 日 ～ 10 月 27 日 9 月 2 日 ～ 11 月 1 日	高松市埋蔵文化財センター
16	その他	ふんどう君（着ぐるみ）	一式	体育大会での応援	10 月 11 日 ～ 10 月 16 日	広島銀行松山支店
17	写真	松山城二之丸跡出土の金貨	一式	タウン情報まつやま 12 月号掲載記事に使用のため	11 月 8 日 ～ 11 月 15 日	エス・ピー・シー
18	写真	御産所権現山古墳出土品ほか	38 点	『味生公民館創立 60 周年記念誌』に掲載するため	11 月 19 日 ～ 11 月 20 日	愛媛新聞サービスセンター
19	資料	福音小学校構内遺跡出土品・展示ケース	6 点	星岡地区の文化祭に展示するため	11 月 20 日 ～ 11 月 24 日	個人
20	写真	ふんどう君（着ぐるみ）	3 点	朝日新聞文化面で掲載するため	12 月 5 日 ～ 12 月 10 日	朝日新聞東京本社文化くらし報道部
21	写真 現説資料	祝谷大地ヶ田遺跡 4 次調査の現地説明会資料ほか	一式	「文化財発掘出土情報」2014 年 2 月号に掲載するため	12 月 17 日 ～ 12 月 18 日	(株) ジャパン通信情報センター
22	資料	葉佐池古墳出土遺物	17 点	葉佐池古墳出土品のレプリカ作成のため	11 月 15 日 ～平成 26 年 3 月 15 日	（株）トリアド工房
23	その他	ふんどう君（着ぐるみ）	一式	商店街のイベントで利用するため	1 月 24 日 ～ 1 月 27 日	新居浜商店街連盟
24	写真	松山城二之丸跡出土の金貨	1 点	中学校用道徳副読本『あすを生きる』『道徳の学習』の付属品教師用 DVD-ROM に PDF データとして収録するため	1 月 24 日 ～ 1 月 30 日	日本文教出版株式会社
25	資料	葉佐池古墳出土遺物	3 点	葉佐池古墳出土品のレプリカ作成のため	1 月 29 日 ～ 3 月 31 日	（株）トリアド工房
26	写真	葉佐池古墳石室・ハエの囲蛹殻	3 点	「国富中村古墳のお葬式」記録集掲載のため	2 月 4 日 ～ 3 月 31 日	出雲弥生の森博物館
27	その他	久米官衙遺跡群の復原図	1 点	『末広町誌』に掲載するため	2 月 19 日 ～ 2 月 20 日	末広町商店連盟
28	写真他	官衙施設の配置図ほか	5 点	条里制・古代都市研究会 30 周年記念誌への掲載のため	2 月 25 日 ～ 3 月 31 日	条里制・古代都市研究会
29	その他	復原品の臼・杵	3 点	6 年生の授業で利用するため	2 月 26 日 ～ 2 月 28 日	松山市立雄郡小学校
30	その他	土器パズル	2 点	埋蔵文化財センターが行うワークショップで使用するため	2 月 27 日 ～ 3 月 3 日	高知県立埋蔵文化財センター
31	資料	来住廃寺・大渕遺跡出土石器	3 点	「南予の弥生石器研究会」3 月例会で使用するため	3 月 13 日 ～ 3 月 15 日	個人
32	その他	火おこし道具	5 組	授業で使用するため	3 月 13 日 ～ 3 月 14 日	愛媛県立聾学校
33	その他	ふんどう君（着ぐるみ）	一式	国道 33 号松山外環状道路インター線開通セレモニーイベントで使用するため	3 月 15 日 ～ 3 月 16 日	松山市都市整備部都市政策課
34	写真	祝谷 7 号墳出土の須恵器小像	2 点	倉敷考古館ホームページ『よもやまばなし』に掲載のため	3 月 25 日 ～ 3 月 28 日	倉敷考古館
35	その他	ふんどう君（着ぐるみ）	一式	イベント会場内での来場者との交流のため	3 月 28 日 ～ 3 月 31 日	特定非営利活動法人 e ワーク愛媛

表 13　資料の調査一覧

No.	調査資料名	点数	調査・利用目的	調査・利用期間
1	大渕遺跡出土の縄文土器（報告書掲載土器）	一式	研究のため熟覧・写真撮影	平成 25 年 5 月 5 日
2	古照遺跡の堰ほか	4 点	生涯学習資料作成のための模写・写真撮影	5 月 8 日
3	展示室内（常設展示室）ほか	16 点	研究のため写真撮影	7 月 6 日
4	久米高畑遺跡出土の線刻須恵器ほか	21 点	地方官衙研究のため熟覧・写真撮影	7 月 25 日
5	北梅本乙井遺跡出土品	一式	研究のため写真撮影	8 月 24 日
6	常設展示室・ロビーに展示中の分銅形土製品	一式	リビングまつやま 9 月 21 日号で掲載（予定）するため写真撮影	9 月 4 日
7	樫味四反地遺跡 7 次調査の出土品ほか	113 点	研究のため熟覧・模写・写真撮影	9 月 15 日・16 日
8	松山城三之丸跡 7 次出土の陶磁器	コンテナ 7 箱分	卒業論文作成のため熟覧・写真撮影	9 月 19 日・20 日
9	東山古墳群 27 号墳出土の鉄釘ほか	一式	卒業論文作成のため熟覧・模写・写真撮影	10 月 24 日
10	来住廃寺跡出土瓦	1 点	「古代瓦研究」Ⅵへの論文掲載のため	11 月 1 日
11	三島神社古墳出土の鉄釘ほか	一式	卒業論文作成のため熟覧・模写・写真撮影	11 月 29 日
12	城の内 3 号墳出土土器	1 点	考古学の研究のため熟覧・写真撮影	12 月 7 日
13	干支と考古学	1 点	「週刊 愛媛経済レポート」の新春特別号の表紙に使用するため写真撮影	12 月 10 日
14	東本遺跡出土の青銅鏡ほか	2 点	卒業論文執筆のため熟覧・模写・写真撮影	12 月 18 日
15	来住廃寺 35 次・36 次調査出土瓦塔	1 点	調査研究のため熟覧・写真撮影	平成 26 年 3 月 14 日
16	城の内 3 号墳出土須恵器	1 点	研究のため熟覧	3 月 19 日

表 14　広報活動一覧

No.	団体名	日　時		内　容
1	葉佐池くらぶレンゲソウまつり	平成 25 年 5 月 4 日（土）	10：30 ～ 12：30	ふんどう君出演・古代衣装
2	健康フェスタ in えひめ 2013	7 月 6 日（土）	10：00 ～ 17：00	ふんどう君出演
3	健康フェスタ in えひめ 2013	7 月 7 日（日）	10：00 ～ 16：00	ふんどう君出演
4	みんなの生活展 2013	10 月 19 日（土）	10：00 ～ 16：00	ふんどう君出演・土器パズル・古代衣装
5	みんなの生活展 2013	10 月 20 日（日）	10：00 ～ 16：00	土器パズル・古代衣装
6	葉佐池くらぶレンゲソウ種まきプレイベント	10 月 20 日（日）	10：00 ～ 12：00	ふんどう君出演・古代衣装
7	野外活動センターまつり	11 月 3 日（日）	10：00 ～ 15：30	ふんどう君出演・土器パズル・ぬり絵
8	星岡公民館	11 月 24 日（日）	10：00 ～ 15：00	遺物展示
9	市民文化フェスタ 2014	平成 26 年 3 月 1 日（土）	11：00 ～ 17：00	ふんどう君出演・ジグソーパズル・古代衣装・ぬり絵
10	市民文化フェスタ 2014	3 月 2 日（日）	10：00 ～ 16：30	ふんどう君出演・ジグソーパズル・古代衣装・ぬり絵

表 15　平成 25 年度　考古館月別入館者数調（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）

（単位：人）

月	開館日数（日）	常設展示室									特別展示室	展示室延入場者数	入館者数
		有料入館者					無料入館者						
		一般	高齢者	団体各種割引	前売	小計	高校生以下	身障者介護人	その他	小計			
4	25	122	35	0		157	756	11	35	802	990	1,949	1,403
5	27	170	153	27		350	803	10	30	843	1,444	2,637	1,649
6	26	156	123	15		294	94	12	36	142	656	1,092	1,437
7	26	121	88	143		352	170	9	14	193	804	1,349	1,317
8	27	147	18	7		172	424	6	144	574	1,030	1,776	1,147
9	25	176	75	11		262	63	6	13	82	600	944	790
10	27	65	59	11		135	291	28	107	426	515	1,076	951
11	26	16	45	0		61	119	11	312	442	437	940	880
12	24	89	44	0		133	49	1	0	50	342	525	496
1	24	110	12	0		122	61	4	0	65	322	509	598
2	23	137	72	98		307	160	3	6	169	832	1,308	1,002
3	26	178	87	0		265	908	31	52	991	1,570	2,826	1,804
計	306	1,487	811	312	0	2,610	3,898	132	749	4,779	9,542	16,931	13,474

写真１　「考古館・楽しかった 2012 展」

写真２　巡回展「続・発掘へんろ」

写真３　展示会「掘ったぞな松山 2013」

写真４　展示会「いにしえのえひめ 2013」

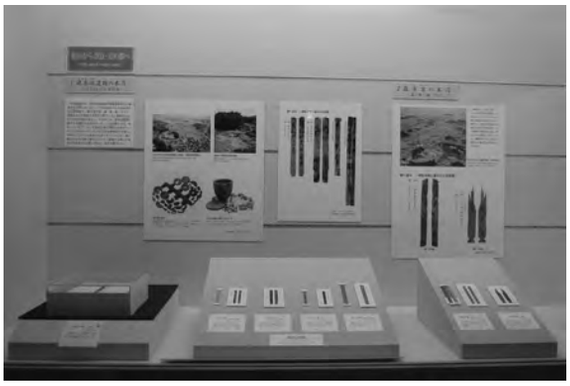


写真５　特別展「出土文字から探る古代の松山」

写真６　地域展「味生の歴史」

写真７　発掘情報展②「祝谷大地ヶ田遺跡４次調査」

写真８　「松山市考古館写真展」（松山市役所１階ロビー）

写真９　報告会「続・発掘へんろ」

写真 10　講演会「特別展」

写真 11　講演会「地域展」

写真 12　考古館ロビー　箏コンサート

写真 13 「わかりやすい考古学講座」（10 月）

写真 14 「わかりやすい考古学講座」（12 月）

写真 15　講演会「松山古代史セミナー」（1 月）

写真 16　講演会「松山古代史セミナー」（2 月）

写真 17　石勾玉を作ろう

写真 18　ガラス勾玉を作ろう

写真 19　銅銭作り

写真 20　銅鏡作り

写真 21　染物体験

写真 22　古代体験まつり・ふんどう君ペンダント作り

写真 23　古代体験まつり・考古館で描こう

写真 24　古代体験まつり・火おこし体験

写真 25　遺跡見学会「歴史バスツアー」

写真 26　団体来館・小学校の火おこし体験

写真 27　現地説明会・祝谷大地ヶ田遺跡 4 次調査

写真 28　出前考古学・石庖丁作り

写真 29　大連古代蓮

写真 30　古代米

写真 31　資料貸出しに伴う調査

写真 32　広報活動・考古館ｷｬﾗｸﾀｰ「ふんどう君」

V　関係法規

1. 松山市立埋蔵文化財センター条例

平成元年9月30日
条例第43号

（設置）

第1条　本市の埋蔵文化財の保護、調査、研究等による地域文化の発展を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条及び地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項の規定に基づき、松山市立埋蔵文化財センター（以下「センター」という。）を設置する。

2　センターは、松山市南斎院町乙67番地6に置く。

（事業）

第2条　センターは、次の各号に掲げる事業を行う。

(1)　埋蔵文化財の発掘、調査、研究等に関すること。

(2)　出土品、資料等の保存、整理及び収蔵に関すること。

(3)　埋蔵文化財に係る情報の収集、交換等に関すること。

(4)　次条に規定する松山市考古館（以下「考古館」という。）及び松山市文化財情報館（以下「文化財情報館」という。）の管理運営に関すること。

(5)　その他教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める事業

（考古館及び文化財情報館）

第3条　センターに考古館及び文化財情報館を設置する。

2　考古館は、次に掲げる事業を行う。

(1)　埋蔵文化財その他の考古資料の収集、管理及び展示に関すること。

(2)　考古館が収蔵する資料（以下この条において「考古館資料」という。）の案内、説明等に関すること。

(3)　考古館資料に係る調査、研究等に関すること。

(4)　考古館資料に係る講演会、研究会等の開催に関すること。

(5)　その他委員会が必要と認める事業

3　文化財情報館は、次の各号に掲げる事業を行う。

(1)　出土文化財の調査、研究等に関すること。

(2)　出土品、資料等の保存、活用、整理及び収蔵に関すること。

(3)　埋蔵文化財に係る情報の収集、公開等に関すること。

(4)　その他委員会が必要と認める事業

（考古館観覧料）

第4条　考古館を観覧しようとする者は、別表に定める観覧料を納めなければならない。

（観覧料の減免）

第5条　委員会は、特別な理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

（観覧料の不還付）

第6条　既納の観覧料は、還付しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りではない。

（秩序維持）

第7条　委員会は、次の各号の一に該当する者に対し、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

(1)　でい酔者等で、他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある者

(2)　施設、設備又は展示品、資料等を損傷するおそれのある者

(3)　その他委員会が管理運営上支障があると認める者

（損害賠償）

第8条　センターの施設、設備又は展示品、資料等を毀損し、又は滅失した者は、不可抗力による場合を除き、市にその損害を賠償しなければならない。

（職員）

第9条　センターに所長その他の必要な職員を置き、考古館に館長を置く。

（指定管理者）

第10条　委員会は、センターの設置の目的を効果的に達成するため必要があると認めるときは、地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理

者（以下「指定管理者」という。）にセンターの管理を行わせることができる。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第11条　前条の規定により指定管理者にセンターの管理を行わせる場合に当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。

(1)　第2条並びに第3条第2項及び第3項に規定する事業の実施に関する業務

(2)　センターの維持管理に関する業務

(3)　前2号に掲げるもののほか、委員会が必要と認める業務

2　前項の場合における第7条の規定の適用については、同条中「委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

（指定管理者が行う管理の基準）

第12条　指定管理者は、この条例及びこの条例に基づく教育委員会規則の定めるところに従い、適正にセンターの管理を行わなければならない。

（委任）

第13条　この条例に定めるもののほか必要な事項は、別に規則で定める。

（過料）

第14条　詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科する。

付　則

この条例は、平成元年10月31日から施行する。

付　則（平成3年3月25日条例第6号）

この条例は、平成3年4月1日から施行する。

付　則（平成9年3月25日条例第7号）

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

付　則（平成14年3月20日条例第6号）

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

付　則（平成15年3月24日条例第1号）

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

付　則（平成17年6月30日条例第29号）

この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。

（平成18年2月24日教委規則第1号により、平成18年4月1日から施行する。）

別表（第4条関係）

区　分		金　額
常設展	個人	100円
	団体	1人につき　80円
特別展	個人	1,000円以内で委員会の定める額
	団体	1人につき　個人に係る特別展の観覧料の8割に相当する額

備考

1　この表において「団体」とは、20人以上の集団をいう。

2　義務教育就学前の児童、小学校の児童、中学校及び高等学校の生徒並びに委員会がこれらに相当すると認めた者は、無料とする。

2．松山市立埋蔵文化財センター条例施行規則

平成16年12月28日
教委規則第41号

（趣旨）

第１条　この規則は、松山市立埋蔵文化財センター条例（平成元年条例第43号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間及び入館時間）

第２条　松山市立埋蔵文化財センター（以下「センター」という。）の開館時間及び入館時間は、次のとおりとする。ただし、教育長が特に必要があると認めるときは、開館時間及び入館時間を変更することができる。

区　分	開館時間及び入館時間
センター （松山市考古館を除く。）	午前８時30分から午後５時まで
松山市考古館 （以下「考古館」という。）	午前９時から午後５時まで （入館時間は、午前９時から午後４時30分まで）

（休館日）

第３条　センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育長が特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に開館日若しくは閉館日を設けることができる。

区　分	休館日
センター （考古館を除く。）	(1)　日曜日及び土曜日 (2)　国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「法」という。）に規定する休日 (3)　12月29日から翌年１月３日まで
考古館	(1)　月曜日（法に規定する休日に当たる日を除く。） (2)　法に規定する休日の翌日（日曜日に当たる日を除く。） (3)　12月29日から翌年１月３日まで

（観覧券の交付）

第４条　教育長は、条例第４条の規定により考古館の観覧料（以下「観覧料」という。）を納付した者に対し、考古館観覧券（以下「観覧券」という。）を交付する。

２　観覧券の種類及び様式は次の各号に定めるとおりとする。

(1)　常設展観覧券

ア　一般観覧券（第１号様式）

イ　団体観覧券（第２号様式）

(2)　特別展観覧券（その都度教育長が定めるものとする。）

(3)　割引観覧券（常設展又は特別展一般観覧券に割引後の額を表示したものとする。）

３　観覧券は、考古館の入口で改札を受けなければならない。

（観覧料の減免）

第５条　条例第５条の規定により観覧料を減免する場合及びその額は、次のとおりとする。

(1)　教育課程の一環として、児童生徒の引率者が観覧する場合・・・全額

(2)　身体障害者手帳又は療育手帳の交付を受けている者及びその介護人が観覧する場合・・・全額

(3)　市内に居住する65歳以上の者が観覧する場合・・・半額

(4)　前３号に掲げるもののほか教育長が特別な理由があると認めた場合・・・その都度教育長が定める額

（観覧料の減免申請）

第６条　条例第５条の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減免申請書（第３号様式）を教育長に提出しなければならない。ただし、前条第２号若しくは第３号の規定に該当することを証する書類等を提示した者又は教育長が観覧料減免申請書の提出を要しないと認めた者については、この限りでない。

（観覧料の還付）

第７条　条例第６条ただし書の規定により既納の観覧料の全部又は一部を還付する場合は、次のとおりとする。

(1)　考古館を観覧しようとする者の責に帰すことができない事由により観覧できなくなったとき。

(2)　前号に掲げるもののほか教育長が特別の理由があると認めるとき。

（資料の特別利用）

第８条　センターが所蔵する資料（以下「センター資料」という。）を利用しようとする者は、松山市立埋蔵文化財センター資料特別利用申請書（第４号様式）を教育長に提出し、松山市立埋蔵文化

財センター資料特別利用許可書（第５号様式）の交付を受けなければならない。

２　センター資料の貸出期間は、30日以内とする。ただし、教育長が相当の理由があると認めたときは、その期間を延長することができる。

３　教育長は、公益上又はセンター資料の管理上必要があると認めたときは、貸出期間中であってもセンター資料の返還を求めることができる。

（寄贈及び寄託）

第９条　センターは、資料の寄贈及び寄託を受けることができる。

２　センターに資料を寄贈又は寄託しようとする者は、資料（寄贈・寄託）申請書（第６号様式）により教育長に申請し、その許可を受けるものとする。

３　教育長は、センターに資料を寄贈又は寄託した者に対し、資料（受領・受託）書（第７号様式）を交付するものとする。

４　寄託資料の寄託期間は、１年、３年又は５年とする。

５　寄託資料は、センター資料に準じて取り扱うものとする。ただし、当該資料を他に貸し出す場合は、あらかじめ寄託者の承諾を得るものとする。

（指定管理者に関する読替え）

第10条　条例第10条の規定により指定管理者にセンターの管理を行わせる場合において、第４条第１項及び第２項第２号並びに第８条の規定の適用については、これらの規定中「教育長」とあるのは、「指定管理者」とする。

（管理の対価）

第11条　前条に規定する場合において、指定管理者に支払われる管理の対価は、当該管理に係る事務処理のために必要な費用を超えてはならない。

２　前項の管理の対価が当該管理に係る事務処理のために必要な費用を超えるに至った場合には、教育長は、指定管理者に対し、その超える金額を還付させるものとする。

（委任）

第12条　この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

付　則

（施行期日）

１　この規則は、平成17年１月１日から施行する。

（松山市考古館管理運営規則の廃止）

２　松山市考古館管理運営規則（平成元年教育委員会規則第12号）は、廃止する。

付　則（平成18年３月31日教委規則第10号）

この規則は，平成18年４月１日から施行する。

松山市埋蔵文化財調査年報　26

平成 26 年 11 月 28 日　発行

編集・発行　松山市教育委員会
〒790-0003　愛媛県松山市三番町六丁目 6-1
TEL(089)948-6605

公益財団法人　松山市文化・スポーツ振興財団
埋蔵文化財センター
〒791-8032　愛媛県松山市南斎院町乙 67 番地 6
TEL(089)923-6363
FAX(089)925-0260

印刷　明星印刷工業株式会社
〒790-0056　愛媛県松山市土居田町 500 番地
TEL(089)971-7111